

設置年度 平成 30年度  
計画の区分： 学部設置

認可

国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 国際医療福祉大学  
令和3年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 東京赤坂キャンパス 事務部

職名・氏名 シムフチョウ ヤナギタツヤ  
事務部長 柳 辰哉

電話番号 03-5574-3900

(夜間) 03-5574-3900

e-mail tokyo.s.c@iuhw.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

＜心理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

## (2) 大学名

国際医療福祉大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒107-8402

東京都港区赤坂4-1-26

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月1日)		
学長	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月1日)		
学部長	(タカハシ タイ) 高橋 泰 (平成30年4月1日)	(ナカタ アキノリ) 中田 光紀 (令和2年4月1日)	一身上の都合(2)
学科長等	(ナカタ アキノリ) 中田 光紀 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。  
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学 学士(心理学)	文学関係	4年	60人	一年次 一人	240人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( )	( )	60人	( )	60人	( )	60人	( )	60人	( )	( )	( )	1.06倍	—	
志願者数	( )	( )	221	( )	311	( )	244	( )	239	( )	( )	( )			
受験者数	( )	( )	216	( )	301	( )	240	( )	229	( )	( )	( )			
合格者数	( )	( )	139	( )	107	( )	110	( )	119	( )	( )	( )			
B 入学者数	( )	( )	69	( )	64	( )	62	( )	62	( )	( )	( )			
入学定員超過率 B/A			1.15		1.06		1.03		1.03						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

- ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	69 [ 2 ] ( - )	— [ ] ( )	65 [ - ] ( 1 )	— [ ] ( )	62 [ 3 ] ( - )	— [ ] ( )	62 [ 2 ] ( - )	— [ ] ( )	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
2年次	/		66 [ 2 ] ( - )	— [ ] ( )	64 [ - ] ( - )	— [ ] ( )	63 [ 3 ] ( 3 )	— [ ] ( )	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
3年次			/		/		64 [ 2 ] ( - )	— [ ] ( )	60 [ - ] ( - )	— [ ] ( )	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次							/		/		/		64 [ 2 ] ( - )	— [ ] ( )
計			69 [ 2 ] ( - )	131 [ 2 ] ( 1 )	190 [ 5 ] ( - )	249 [ 7 ] ( 3 )							[ ]	[ ]

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

## 2 授業科目の概要

＜赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学	1前	2			3	5		1		3
	コミュニケーション概論	1前	2						1		
	雑談と傾聴	1前	2				1				
	人間学	1234後		2							1
	宗教学	1234後		2							1
	日本近現代史	1234後		2							1
	教育学	1234後		2							1
	死生学	1234前		2							1
	法学	1後	2								1
	社会学	1234前		2		1					
	国際医療福祉論	1234前		2							1
	海外保健福祉事情	1234通		2							1
	ボランティア論	1234後		2							1
	経済学	1234前		2							1
	数学	1前	2			1					
	生物学	1234前		2							1
	コンピュータの基礎	1234前		2							1
	生命倫理	1234後		2							1
	医学/医療史	1234前		2							1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1			1			1		1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1			1			1		1
	医療福祉教養講義	1234後		1							1
	メディカルマナー入門	1234後		2							1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1								2
	英語講読Ⅱ(Basic)	1後	1								2
	英語CALLⅠ(Primary)	1234前		1							2
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1							2
	英語会話Ⅰ(Primary)	1前	1								2
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1							2
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1							1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1							1
	健康科学理論	1234前		1							1
	健康科学実践	1234後		1							1
小計(33科目)		-									
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2						1	
	関連職種連携論	2後	2			1					
	関連職種連携実習	4前		1						1	
	保健医療福祉制度論	1234前		2						1	
	リスクマネジメント論	1234前		2						1	
	災害医療論	1234後		2						1	
	心理学史	1後	2			1					
	臨床心理学概論	2前	2							1	
	知覚・感覚の心理学	1前	2							1	
	記憶・学習の心理学	1後	2							1	
	個人差の心理学	3前	2			1					
	生理心理学	3後	2			1					
	精神医学	3前	2			1					
	心身医学	3後	2		2	1					
	社会心理学	3後	2		2	1					
	心理統計学講義Ⅰ(単変量解析)	1前	2			1					
	心理統計学講義Ⅱ(多変量解析)	2前	2		2	1					
	心理統計学演習Ⅰ(単変量解析)	1後	1			1					
	心理統計学演習Ⅱ(多変量解析)	2後	1		1	1					
	心理学実験Ⅰ(基礎)	2前	1							1	
	心理学実験Ⅱ(応用)	2後	1							1	
	生涯発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	2前	2			1					
生涯発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	2後	2			1						
心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	1後	2				1					
心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	2前	2			1						
障害者(児)の心理学	2前	2							1		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	心理学概論	1前	2				2	3				2
	コミュニケーション概論	1後	2							1		
	雑談と傾聴	1前	2									1
	人間学	1234後		2								1
	宗教学	1234後		2								1
	日本近現代史	1234後		2								1
	教育学	1234後		2								1
	死生学	1234前		2								1
	法学	1後	2									1
	社会学	1234前		2								1
	国際医療福祉論	1234後		2								1
	海外保健福祉事情	1234通		2								1
	ボランティア論	1234後		2								1
	経済学	1234前		2								1
	数学	1前	2					1				
	生物学	1234後		2								1
	コンピュータの基礎	1234後		2								1
	生命倫理	1234後		2								1
	医学/医療史	1234前		2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1								2	2
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1								2	2
	医療福祉教養講義	1234後		1								1
	メディカルマナー入門	1234後		2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1									1
	英語講読Ⅱ(Basic)	1後	1									1
	英語CALLⅠ(Primary)	1234前		1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1								1
	英語会話Ⅰ(Primary)	1前	1									1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1								1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1								1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1								1
	健康科学理論	1234前		1								1
	健康科学実践	1234後		1								1
小計(33科目)		-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2							1	
	関連職種連携論	2後	2					1			1	
	関連職種連携実習	4前		1							1	
	保健医療福祉制度論	1234後		2							1	
	リスクマネジメント論	1234前		2							1	
	災害医療論	1234後		2							2	
	心理学史	1後	2					1				
	臨床心理学概論	2前	2								1	
	知覚・認知心理学	1前	2								1	
	学習・言語心理学	1後	2								1	
	感情・人格心理学	3前	2					1				
	神経・生理心理学	3後	2					1				
	人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1	
	精神疾患とその治療	3前	2					1				
	心身医学	3後	2		2			1				
	社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団)	3後	2								1	
	心理統計法Ⅰ(単変量解析講義)	1前	2					1				
	心理統計法Ⅱ(多変量解析講義)	2前	2		2			1				
	心理統計法Ⅲ(単変量解析演習)	1後	1					1			1	
	心理統計法Ⅳ(多変量解析演習)	2後	1		1			1			1	
	心理学実験Ⅰ(基礎)	2前	1								2	
	心理学実験Ⅱ(応用)	2後	1								2	
発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	2前	2						1				
発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	2後	2						1				
心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	1後	2						1				
心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	2前	2						1				
障害者・障害児心理学	2前	2								2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	教育心理学	2後	2								1
	心理学入門演習	1通	2			3	4		1		
	心理学初級演習	2通	2			3	4		1		
	臨床心理援助の倫理	3前	2				1				
	心理療法概論	3前	2				1				
	心理学中級演習	3通	2			3	4		1		
	心理学上級演習	4通	2			3	4		1		
	臨床心理アセスメント講義	2後	2				1				
	臨床心理アセスメント演習	3通	2				3		1		1
	心理療法演習Ⅰ(人間理解)	3前	1				1				
	心理療法演習Ⅱ(ロールプレイング)	3後	1								1
	心理療法演習Ⅲ(事例検討)	4前		1		1					
	家族心理学	3前	2				1				
	家族援助技法講義	3後		2		1					
	家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	3後		1		2	4		1		3
	家族援助技法演習Ⅱ(応用)	4後		1		1					
	臨床心理学的地域援助論	4前		2		1					
	環境心理学	4前		2		1					
	健康心理学	2後		2					1		
	精神保健学	3後		2		1					
	組織心理学	4前		2		1					
	犯罪(司法)心理学	3前		2			1				
	臨床心理基礎実習	2前		1			1				
	臨床心理実習Ⅰ(福祉領域)	2後		1			3				
	臨床心理実習Ⅱ(保健・医療領域)	3前		1			3				
	臨床心理実習Ⅲ(保育・教育領域)	3後		1		1	2				
	臨床心理実習Ⅳ(産業・司法領域)	3後		1			2		1		
	家族関係論演習	4前		1		1					
	家族発達論	3後		2		1					
	メンタルヘルス制度論	3前		2		1			1		
	メンタルヘルスチェック制度演習	3後		1		1			1		
メンタルヘルス支援演習	4前		1		1			1			
小計(58科目)	-										
合計(91科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目の必修から15単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から71単位、選択から14単位以上、さらにすべての選択科目から12単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	教育・学校心理学	2後	2								2
	心理学入門演習	1通	2							1	1
	心理学初級演習	2通	2					1		1	
	公認心理師の職責	3前	2					1			
	心理学的支援法	3前	2				1				
	心理学中級演習	3通	2				3	4			
	心理学上級演習	4通	2				3	4			
	心理的アセスメントⅠ(講義)	2後	2								1
	心理的アセスメントⅡ(演習)	3通	2				1	1		1	2
	心理演習Ⅰ(人間理解)	3前	1				1	2		1	1
	心理演習Ⅱ(ロールプレイング)	3後	1				1	2		1	1
	心理演習Ⅲ(事例検討)	4前		1		1					1
	社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)	3前	2							1	
	家族援助技法講義	3後		2		1				1	
	家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	3後		1		1				1	
	家族援助技法演習Ⅱ(応用)	4後		1		1				1	
	福祉心理学	4前	2				1	1			1
	環境心理学	4前		2		1					
	健康・医療心理学	2後	2					1			
	精神保健学	3後	2			1					
	産業・組織心理学	4前	2							1	
	司法・犯罪心理学	3前	2				1	1			
	心理実習Ⅰ(基礎)	2前	1				1	2		1	1
	心理実習Ⅱ(福祉領域)	2後		1			1	1			
	心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	3前	1					3		1	1
	心理実習Ⅳ(保育・教育領域)	3後		1				1			1
	心理実習Ⅴ(産業・司法領域)	3後		1				1		1	
	家族関係論演習	4前		1						1	
	家族発達論	3後		2						1	
	関係行政論	3前	2					2		1	1
	メンタルヘルスチェック制度演習	3後		1						1	
メンタルヘルス支援演習	4前		1						1		
小計(59科目)	-										
合計(92科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目の必修から15単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から71単位、選択から14単位以上、さらにすべての選択科目から12単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2			2	5		1		3
	コミュニケーション概論	1後	2						1		
	雑談と傾聴	1前	2			1					
	人間学	1234後	2								1
	宗教学	1234後	2								1
	日本近現代史	1234後	2								1
	教育学	1234後	2								1
	死生学	1234前	2								1
	法学	1後	2								1
	社会学	1234前	2			1					
	国際医療福祉論	1234後	2								1
	海外保健福祉事情	1234通	2								1
	ボランティア論	1234後	2								1
	経済学	1234前	2								1
	数学	1前	2			1					
	生物学	1234後	2								1
	コンピュータの基礎	1234後	2								1
	生命倫理	1234後	2								1
	医学/医療史	1234前	2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1			1					1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1						1		1
	医療福祉教養講義	1234後	1								1
	メディカルマナー入門	1234後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語講読Ⅱ(Basic)	1後	1								2
	英語CALLⅠ(Primary)	1234前	1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後	1								1
	英語会話Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後	1								1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前	1								1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後	1								1
	健康科学理論	1234前	1								1
	健康科学実践	1234後	1								1
小計(33科目)	-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前	2								1
	関連職種連携論	2後	2								1
	関連職種連携実習	4前	1								1
	保健医療福祉制度論	1234前	2								1
	リスクマネジメント論	1234前	2								1
	災害医療論	1234後	2								1
	心理学史	1後	2			1					
	臨床心理学概論	2前	2								1
	知覚・認知心理学	1前	2								1
	学習・言語心理学	1後	2								1
	感情・人格心理学	3前	2			1					
	神経・生理心理学	3後	2			1					
	人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1
	精神疾患とその治療	3前	2			1					
	心身医学	3後	2		1						
	社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団)	3後	2								
	心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義)	1前	2			1					
	心理学統計法Ⅱ(多変量解析講義)	2前	2			1					
	心理学統計法Ⅲ(単変量解析演習)	1後	1			1					1
	心理学統計法Ⅳ(多変量解析演習)	2後	1			1					
心理学実験Ⅰ(基礎)	2前	1								1	
心理学実験Ⅱ(応用)	2後	1								1	
発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	2前	2			1						
発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	2後	2									
心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	1後	2			1						
心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	2前	2				1					
障害者・障害児心理学	2前	2								1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2			2	5		1		3
	コミュニケーション概論	1後	2						1		
	雑談と傾聴	1前	2			1					
	人間学	1234後	2								1
	宗教学	1234後	2								1
	日本近現代史	1234後	2								1
	教育学	1234後	2								1
	死生学	1234前	2								1
	法学	1後	2								1
	社会学	1234前	2			1					
	国際医療福祉論	1234後	2								1
	海外保健福祉事情	1234通	2								1
	ボランティア論	1234後	2								1
	経済学	1234前	2								1
	数学	1前	2			1					
	生物学	1234後	2								1
	コンピュータの基礎	1234後	2								1
	生命倫理	1234後	2								1
	医学/医療史	1234前	2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1						1		1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1						1		1
	医療福祉教養講義	1234後	1							1	1
	メディカルマナー入門	1234後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語講読Ⅱ(Basic)	1後	1								2
	英語CALLⅠ(Primary)	1234前	1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後	1								1
	英語会話Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後	1								1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前	1								1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後	1								1
	健康科学理論	1234前	1								1
	健康科学実践	1234後	1								1
小計(33科目)	-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前	2								1
	関連職種連携論	2後	2						1		1
	関連職種連携実習	4前	1								1
	保健医療福祉制度論	1234前	2								1
	リスクマネジメント論	1234前	2								1
	災害医療論	1234後	2								1
	心理学史	1後	2			1					
	臨床心理学概論	2前	2						1		
	知覚・認知心理学	1前	2								1
	学習・言語心理学	1後	2								1
	感情・人格心理学	3前	2			1					
	神経・生理心理学	3後	2			1					
	人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1
	精神疾患とその治療	3前	2			1					
	心身医学	3後	2		1						
	社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団)	3後	2								
	心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義)	1前	2			1					
	心理学統計法Ⅱ(多変量解析講義)	2前	2			1					
	心理学統計法Ⅲ(単変量解析演習)	1後	1			1					1
	心理学統計法Ⅳ(多変量解析演習)	2後	1			1					
心理学実験Ⅰ(基礎)	2前	1								2	
心理学実験Ⅱ(応用)	2後	1								2	
発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	2前	2			1						
発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	2後	2						1			
心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	1後	2			1						
心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	2前	2						2			
障害者・障害児心理学	2前	2								1	



授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
<b>教育・学校心理学</b>	2後	2								1
心理学入門演習	1通	2			3	4		1		
心理学初級演習	2通	2			3	4		1		
<b>公認心理師の職責</b>	3前	2				1				
<b>心理学的支援法</b>	3前	2				1				
心理学中級演習	3通	2			3	4		1		
心理学上級演習	4通	2			3	4		1		
心理的アセスメントⅠ(講義)	2後	2				1				
心理的アセスメントⅡ(演習)	3通	2				3		1		1
心理演習Ⅰ(人間理解)	3前	1				1				
心理演習Ⅱ(ロールプレイング)	3後	1								1
心理演習Ⅲ(事例検討)	4前		1		1					
社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)	3前	2								
家族援助技法講義	3後		2		1					
家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	3後		1		2	4		1		3
家族援助技法演習Ⅱ(応用)	4後		1		1					
<b>福祉心理学</b>	4前	2				2				1
環境心理学	4前		2		1					
<b>健康・医療心理学</b>	2後	2								
精神保健学	3後	2			1					
<b>産業・組織心理学</b>	4前	2			1					
<b>司法・犯罪心理学</b>	3前	2				2				
心理実習Ⅰ(基礎)	2前	1				1				
心理実習Ⅱ(福祉領域)	2後		1			3				
心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	3前	1				3				
心理実習Ⅳ(保育・教育領域)	3後		1		1	2				
心理実習Ⅴ(産業・司法領域)	3後		1			2		1		
家族関係論演習	4前		1		1					
家族発達論	3後		2		1					
<b>関係行政論</b>	3前	2			1	2				2
メンタルヘルスチェック制度演習	3後		1		1			1		
メンタルヘルス支援演習	4前		1		1			1		
小計(59科目)	-									

卒業要件及び履修方法

総合教育科目の必修から15単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から71単位、選択から14単位以上、さらにすべての選択科目から12単位以上を修得し、124単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
<b>教育・学校心理学</b>	2後	2								1
心理学入門演習	1通	2			3	4		1		1
心理学初級演習	2通	2			3	4		1		1
<b>公認心理師の職責</b>	3前	2				1				
<b>心理学的支援法</b>	3前	2				1				
心理学中級演習	3通	2			3	4		1		1
心理学上級演習	4通	2			3	4		1		1
心理的アセスメントⅠ(講義)	2後	2								1
心理的アセスメントⅡ(演習)	3通	2				3		1		1
心理演習Ⅰ(人間理解)	3前	1				1	3	1		1
心理演習Ⅱ(ロールプレイング)	3後	1				2	3	1		1
心理演習Ⅲ(事例検討)	4前		1		1	1				1
社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)	3前	2								
家族援助技法講義	3後		2		1					
家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	3後		1		2	3		1		
家族援助技法演習Ⅱ(応用)	4後		1		1					
<b>福祉心理学</b>	4前	2				2				1
環境心理学	4前		2		1					
<b>健康・医療心理学</b>	2後	2					1			
精神保健学	3後	2			1					
<b>産業・組織心理学</b>	4前	2					1			
<b>司法・犯罪心理学</b>	3前	2					2			
心理実習Ⅰ(基礎)	2前	1				2	3	1		1
心理実習Ⅱ(福祉領域)	2後		1				3			
心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	3前	1				2	3	1		
心理実習Ⅳ(保育・教育領域)	3後		1		1	1	1			
心理実習Ⅴ(産業・司法領域)	3後		1			1		1		
家族関係論演習	4前		1		1					
家族発達論	3後		2		1					
<b>関係行政論</b>	3前	2			1	3				
メンタルヘルスチェック制度演習	3後		1		1	1				
メンタルヘルス支援演習	4前		1		1	1				
小計(59科目)	-									

卒業要件及び履修方法

総合教育科目の必修から15単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から71単位、選択から14単位以上、さらにすべての選択科目から12単位以上を修得し、124単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2			1	4		2		3
	コミュニケーション概論	1後	2						1		
	雑談と傾聴	1前	2								1
	人間学	1234後		2							1
	宗教学	1234後		2							1
	日本近現代史	1234後		2							1
	教育学	1234後		2							1
	死生学	1234前		2							1
	法学	1後	2								1
	社会学	1234前		2							1
	国際医療福祉論	1234後		2							1
	海外保健福祉事情	1234通		2							1
	ボランティア論	1234後		2							1
	経済学	1234前		2							1
	数学	1前	2			1					
	生物学	1234後		2							1
	コンピュータの基礎	1234後		2							1
	生命倫理	1234後		2							1
	医学/医療史	1234前		2							1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1						2		1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1						2		1
	医療福祉教養講義	1234後		1							1
	メディカルマナー入門	1234後		2							1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語講読Ⅱ(Basic)	1後	1								1
	英語CALLⅠ(Primary)	1234前		1							1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1							1
	英語会話Ⅰ(Primary)	1前	1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1							1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1							1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1							1
	健康科学理論	1234前		1							1
	健康科学実践	1234後		1							1
小計(33科目)											
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2							1
	関連職種連携論	2後	2				1				1
	関連職種連携実習	4前		1			1				
	保健医療福祉制度論	1234後		2							1
	リスクマネジメント論	1234前		2							1
	災害医療論	1234後		2							2
	心理学史	1後	2				1				
	臨床心理学概論	2前	2								1
	知覚・認知心理学	1前	2								1
	学習・言語心理学	1後	2								1
	感情・人格心理学	3前	2				1				
	神経・生理心理学	3後	2			1					
	人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1
	精神疾患とその治療	3前	2			1					
	心身医学	3後		2		1					
	社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団)	3後	2						1		
	心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義)	1前	2			1					
	心理学統計法Ⅱ(多変量解析講義)	2前		2		1					
	心理学統計法Ⅲ(単変量解析演習)	1後	1			1					1
	心理学統計法Ⅳ(多変量解析演習)	2後		1		1					
	心理学実験Ⅰ(基礎)	2前	1								2
	心理学実験Ⅱ(応用)	2後	1								2
	発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期)	2前	2								1
発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	2後	2			1						
心理学研究法Ⅰ(量的研究法)	1後	2			1						
心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	2前	2				2					
障害者・障害児心理学	2後	2									

科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	数	専任	講師	助教	助手		
専 門 教 育 科 目	教育・学校心理学	2後	2						1			
	心理学入門演習	1通	2			1	1		1			1
	心理学初級演習	2通	2						2			1
	公認心理師の職責	3前	2				1					
	心理学的支援法	3前	2				1					
	心理学中級演習	3通	2			2	4					
	心理学上級演習	4通	2			2	4		2			
	心理的アセスメントⅠ(講義)	2後	2						1			
	心理的アセスメントⅡ(演習)	3通	2				3		2			
	心理演習Ⅰ(人間理解)	3前	1				3		1			1
	心理演習Ⅱ(ロールプレイング)	3後	1				2		1			2
	心理演習Ⅲ(事例検討)	4前		1		1	1		1			
	社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)	3前	2						1			
	家族援助技法講義	3後		2		1			1			
	家族援助技法演習Ⅰ(基礎)	3後		1		1			1			
	家族援助技法演習Ⅱ(応用)	4後		1		1			1			
	福祉心理学	4前	2				2					1
	環境心理学	4前		2		1						
	健康・医療心理学	2後	2				1					
	精神保健学	3後	2			1						
	産業・組織心理学	4前	2						1			
	司法・犯罪心理学	3前	2				2					
	心理実習Ⅰ(基礎)	2前	1				2		1			2
	心理実習Ⅱ(福祉領域)	2後		1			3					
	心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	3前	1				3		1			2
	心理実習Ⅳ(保育・教育領域)	3後		1								2
	心理実習Ⅴ(産業・司法領域)	3後		1			1		1			
	家族関係論演習	4前		1					1			
	家族発達論	3後		2					1			
	関係行政論	3前	2				3		1			
メンタルヘルスチェック制度演習	3後		1					1				
メンタルヘルス支援演習	4前		1					1				
小計(59科目)	-											
合計(92科目)	-											

卒業要件及び履修方法

総合教育科目の必修から15単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から71単位、選択から14単位以上、さらにすべての選択科目から12単位以上を修得し、124単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理学」から「心理学概論」に変更。併せて専任教員の配置を「教授3」「准教授5」「助教1」「兼任3」から「教授2」「准教授5」「助教1」「兼任3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「コミュニケーション概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際医療福祉論」の配当年次を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「生物学」の配当年次を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「コンピュータの基礎」の配当年次を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「大学入門講座Ⅰ」の専任教員配置を「教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「大学入門講座Ⅱ」の専任教員配置を「教授1」「助教1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「英語講読Ⅰ」の兼任教員配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「英語CALLⅠ」の兼任教員配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「英語CALLⅡ」の兼任教員配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語会話Ⅰ」の兼任教員配置を「2」からネイティブスピーカーの「1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語会話Ⅱ」の兼任教員配置を「2」からネイティブスピーカーの「1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「関連職種連携論」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授0」に変更し、兼任教員1名が担当。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「知覚・感覚の心理学」から「知覚・認知心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「記憶・学習の心理学」から「学習・言語心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「個人差の心理学」から「感情・人格心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「生理心理学」から「神経・生理心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、新規科目「人体の構造と機能及び疾病」を追加。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「精神医学」から「精神疾患とその治療」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「社会心理学」から「社会・集団・家族心理学Ⅰ」に変更。併せて教員審査不可のため専任教員の配置を「教授1」から未定に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理統計学講義Ⅰ」から「心理学統計法Ⅰ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理統計学講義Ⅱ」から「心理学統計法Ⅱ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理統計学演習Ⅰ」から「心理学統計法Ⅲ」に変更。併せて兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理統計学演習Ⅱ」から「心理学統計法Ⅳ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「生涯発達心理学Ⅰ」から「発達心理学Ⅰ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「生涯発達心理学Ⅱ」から「発達心理学Ⅱ」に変更。併せて教員審査不可のため専任教員の配置を「教授1」から未定に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学研究法Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学研究法Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「障害者（児）の心理学」から「障害者・障害児心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「教育心理学」から「教育・学校心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、新規科目「公認心理師の職責」を追加。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理援助の倫理」から「心理学的支援法」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目「心理療法概論」を廃止。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理アセスメント講義」から「心理的アセスメントⅠ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理アセスメント演習」から「心理的アセスメントⅡ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理療法演習Ⅰ」から「心理演習Ⅰ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理療法演習Ⅱ」から「心理演習Ⅱ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「心理療法演習Ⅲ」から「心理演習Ⅲ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「家族心理学」から「社会・集団・家族心理学Ⅱ」に変更。併せて教員審査不可のため専任教員の配置を「教授1」から未定に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目「臨床心理学的地域援助論」を廃止。
- ・公認心理師法の施行により、新規科目「福祉心理学」を追加。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「健康心理学」から「健康・医療心理学」に変更。併せて教員審査不可のため専任教員の配置を「助教1」から未定に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「組織心理学」から「産業・組織心理学」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「犯罪（司法）心理学」から「司法・犯罪心理学」に変更。併せて専任教員の配置「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理基礎実習」から「心理実習Ⅰ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理実習Ⅰ」から「心理実習Ⅱ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理実習Ⅱ」から「心理実習Ⅲ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理実習Ⅲ」から「心理実習Ⅳ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目の名称を「臨床心理応用実習」から「心理実習Ⅴ」に変更。
- ・公認心理師法の施行により、新規科目「関係行政論」を追加。
- ・公認心理師法の施行により、授業科目「メンタルヘルス制度論」を廃止。

## 【令和元年度】

- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1」「兼任1」から「教授1」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅱ」の専任教員の配置を「助教1」「兼任1」から「教授1」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関連職種連携論」の専任教員の配置を「兼任1」から「准教授1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関連職種連携実習」の専任教員の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「臨床心理学概論」の専任教員の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「感情・人格心理学」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学実験Ⅰ」の教員の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学実験Ⅱ」の教員の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「発達心理学Ⅱ」の専任教員の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学研究法Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学入門演習」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学初級演習」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学中級演習」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学上級演習」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授2」「准教授4」「助教2」「兼任1」に変更。
- ・専任教員退職により、「心理的アセスメントⅠ」の教員の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理演習Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授3」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理演習Ⅱ」の専任教員の配置を「兼任1」から「教授2」「准教授3」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理演習Ⅲ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「家族援助技法演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」「准教授4」「助教1」「兼任3」から「教授2」「准教授3」「助教1」に変更。
- ・新規教員着任により、「健康・医療心理学」の教員の配置を「未定」から「准教授1」に変更（平成30年6月教員審査済み）。
- ・教育効果を考慮し、「心理実習Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授2」「准教授3」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理実習Ⅲ」の専任教員の配置を「准教授3」から「教授2」「准教授3」「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理実習Ⅳ」の専任教員の配置を「教授1」「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理実習Ⅴ」の専任教員の配置を「准教授2」「助教1」から「准教授1」「助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関係行政論」の専任教員の配置を「教授1」「准教授2」「兼任2」から「教授1」「准教授3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「メンタルヘルスチェック制度演習」の専任教員の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「メンタルヘルス支援演習」の専任教員の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。

## 【令和2年度】

- ・担当科目の見直しにより、「心理学概論」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授5」「助教1」「兼任3」から「教授1」「准教授4」「助教2」「兼任3」に変更。
- ・専任教員退職により、「雑談と傾聴」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・専任教員退職により、「社会学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「大学入門講座Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「兼任1」から「助教2」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「大学入門講座Ⅱ（展開）」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「兼任1」から「助教2」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「英語講読Ⅱ（Basic）」の専任教員等の配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・感染症拡大の影響により「保健医療福祉制度論」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「災害医療論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・専任教員退職により、「臨床心理学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・新任教員着任により、「社会・集団・家族心理学Ⅰ（社会・集団）」の専任教員等の配置を「未定」から「助教1」に変更。
- ・専任教員退職により、「発達心理学Ⅰ（胎児期から青年期）」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・兼任教員退職により、「障害者・障害児心理学」の専任教員等の配置を「兼任1」から「未定（後任選考中）」に変更。
- ・前任の兼任教員の退職により、緊急措置として開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・新任教員着任により、「教育・学校心理学」の専任教員等の配置を「兼任1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学入門演習」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」から「教授1」「准教授1」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学初級演習」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」から「助教2」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学中級演習」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」から「教授2」「准教授4」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学上級演習」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」「兼任1」から「教授2」「准教授4」「助教2」に変更。
- ・新任教員着任により、「心理的アセスメントⅠ（講義）」の専任教員等の配置を「兼任1」から「助教1」に変更。
- ・新任教員着任により、「心理的アセスメントⅡ（演習）」の専任教員等の配置を「准教授3」「助教1」「兼任1」から「准教授3」「助教2」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理演習Ⅰ（人間理解）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」「助教1」「兼任1」から「准教授3」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理演習Ⅱ（ロールプレイング）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「助教1」「兼任1」から「准教授2」「助教1」「兼任2」に変更。
- ・新任教員着任により、「心理演習Ⅲ（事例検討）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「兼任1」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更した。
- ・新規教員着任により、「社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）」の専任教員等の配置を「未定」から「助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「家族援助技法講義」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「家族援助技法演習Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「助教」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「家族援助技法演習Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「産業・組織心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理実習Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「助教1」「兼任1」から「准教授2」「助教1」「兼任2」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理実習Ⅲ（保健・医療領域）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「助教1」から「准教授3」「助教1」「兼任2」に変更。
- ・専任教員退職により、「心理実習Ⅳ（保育・教育領域）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「兼任2」に変更。
- ・専任教員退職により、「家族関係論演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・専任教員退職により、「家族発達論」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「関係行政論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」から「准教授3」「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「メンタルヘルスチェック制度演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「メンタルヘルス支援演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「助教1」に変更。

【令和3年度】

- ・教員の昇格および担当科目の見直しにより、「心理学概論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授4」「助教2」「兼任3」から「教授2」「准教授3」「助教1」「兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「助教2」「兼任1」から「助教2」「兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅱ（展開）」の専任教員等の配置を「助教2」「兼任1」から「助教2」「兼任2」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「関連職種連携実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学統計法Ⅳ（多変量解析演習）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼任1」に変更。
- ・新任教員の着任により、「発達心理学Ⅰ（胎児期から青年期）」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学研究法Ⅱ（質的研究法）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・前任の兼任教員の退職により、「障害者・障害児心理学」の専任教員等の配置を「未定（後任選考中）」から「兼任1」「兼任1」に変更。
- ・前任の専任教員の退職により、「教育・学校心理学」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任2」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学入門演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」「兼任1」から「助教1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理学初級演習」の専任教員等の配置を「助教2」「兼任1」から「准教授1」「助教1」に変更。
- ・教員の昇格により、「心理学的支援法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員の昇格および新任教員の着任により、「心理学中級演習」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授4」から「教授3」「准教授4」に変更。
- ・教員の昇格および新任教員の着任により、「心理学上級演習」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授4」から「教授3」「准教授4」に変更。
- ・前任の専任教員の退職により、「心理的アセスメントⅠ（講義）」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・教員の昇格および前任の専任教員の退職により、「心理的アセスメントⅡ（演習）」の専任教員等の配置を「准教授3」「助教2」から「教授1」「准教授1」「助教1」「兼任2」に変更。
- ・教員の昇格により前任の専任教員の退職により、「心理演習Ⅰ（人間理解）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・教員の昇格により前任の専任教員の退職により、「心理演習Ⅱ（ロールプレイング）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しおよび前任の専任教員の退職により、「心理演習Ⅲ（事例検討）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」から「教授1」「兼任1」に変更。
- ・教員の昇格により、「福祉心理学」の専任教員等の配置を「准教授2」「兼任1」から「教授1」「准教授1」「兼任1」に変更。
- ・教員の昇格により、「司法・犯罪心理学」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・教員の昇格および新任教員の着任により、「心理実習Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教1」「兼任2」から「教授1」「准教授2」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「心理実習Ⅱ（福祉領域）」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・新任教員の着任および前任の専任教員の退職により、「心理実習Ⅲ（保健・医療領域）」の専任教員等の配置を「准教授3」「助教1」「兼任2」から「准教授3」「助教1」「兼任1」に変更。
- ・新任教員の着任および前任の専任教員の退職により、「心理実習Ⅳ（保育・教育領域）」の専任教員等の配置を「兼任2」から「准教授1」「兼任1」に変更。
- ・担当科目の見直しにより、「関係行政論」の専任教員等の配置を「准教授3」「助教1」から「准教授2」「助教1」「兼任1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
43 科目	48 科目	0 科目	91 科目	48 科目 [ 5 ]	44 科目 [ △4 ]	0 科目 [ 0 ]	92 科目 [ 1 ]	公認心理師法改正に伴うカリキュラム改編のため

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）



(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	69 人	2 人	平成30年度	2 人	0 人	学生個人の心身の事情に関するもの(1名)、他の教育機関への進学希望(1名)
令和元年度	131 人	3 人	平成30年度	3 人	0 人	就職(2名)、除籍(1名)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	190 人	3 人	平成30年度	人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	経済的困窮(1名)、
			令和2年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1名)、他の教育機関への入学(1名)
令和3年度	249 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		8 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{69} = \boxed{2.89} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{131} = \boxed{2.29} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{190} = \boxed{1.57} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{249} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	心理療法概論	2	3前	専門	必修	公認心理師法施行に伴うカリキュラム改編のため
2	臨床心理学的地域援助論	2	4前	専門	必修	公認心理師法施行に伴うカリキュラム改編のため
3	メンタルヘルス制度論	2	3前	専門	選択	公認心理師法施行に伴うカリキュラム改編のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

公認心理師法施行に伴うカリキュラムの全般的な見直しによる授業科目の改編で廃止した科目であり、新法制下で学ぶ学生に配慮した結果である（必修2科目・選択1科目廃止⇒必修4科目追加）。なお、入学前の改編であることから、学生には周知していない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{3}{91} = \boxed{3.29} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	258,383㎡ 276,538㎡ 269,519㎡	0㎡	0㎡	258,383㎡ 276,538㎡ 269,519㎡	校舎敷地に国際医療福祉大学市川病院を追加 (H29.9.1事業承継) (30)			
	運動場用地	100,751㎡	0㎡	0㎡	100,751㎡				
	小計	359,134㎡ 377,289㎡ 370,270㎡	0㎡	0㎡	359,134㎡ 377,289㎡ 370,270㎡	福岡看護学部の新設置者変更等に伴う変更 (3)			
	その他	113,975㎡	0㎡	0㎡	113,975㎡				
	合計	473,109㎡ 491,264㎡ 484,245㎡	0㎡	0㎡	473,109㎡ 491,264㎡ 484,245㎡				
(2) 校舎	専用	212,335㎡ 223,203㎡ 212,896㎡	0㎡	0㎡	212,335㎡ 223,203㎡ 212,896㎡	大学全体 福岡薬学部設置に伴う追加 (2) 福岡看護学部の新設置者変更等に伴う変更 (3)			
	( 178,828㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 178,828㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	キャンパス全体			
	12室	34室	3室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数			研究室配置の見直しのため (元)			
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科		11 40 (うち共同研究室6 5室) 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	6,035 [578] (7,848 [278]) (7,067 [277]) (6,522 [270]) (2,360 [108])	44 [0] (44 [2]) (46 [2]) (48 [3]) (51 [3])	7,837 [6,493] (11,531 [9,976]) (11,028 [9,553]) (6,472 [5,311]) (6,430 [5,078])	43 (169) (169) (162) (61)	6,331 (6,331)	0 (0)		
	計	6,035 [578] (7,848 [278]) (7,067 [277]) (6,522 [270]) (2,360 [108])	44 [0] (44 [2]) (46 [2]) (48 [3]) (51 [3])	7,837 [6,493] (11,531 [9,976]) (11,028 [9,553]) (6,472 [5,311]) (6,430 [5,078])	43 (169) (169) (162) (61)	6,331 (6,331)	0 (0)		
(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		キャンパス全体			
	696.43㎡	85		31,610					
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				キャンパス全体			
	601.62㎡	-							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部全体
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	25,973千円 30,000千円	2,999千円 3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	252,081千円 229,658千円	1,500千円	1,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	一部前倒し整備 (30)	
		1,060千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、試算運用収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		年度	年度	年度	
医学部	6	140	-	700	-	1.00	1.00	-	平成29年度	-	
医学科	6	140	-	700	学士(医学)	1.00		-	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
保健医療学部	4	535	-	2,160	-	1.02	1.02	-	平成7年度	-	
看護学科	4	115	-	460	学士(看護学)	1.01	1.04	-	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
理学療法学科	4	100	-	400	学士(理学療法)	1.01	1.05	-	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士(作業療法)	0.98	1.01	-	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士(言語聴覚)	1.03	1.01	-	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	50	-	200	学士(視機能療法)	1.04	1.04	-	平成14年度	同上	
放射線・情報科学科	4	110	-	460	学士(放射線・情報科学)	1.03	1.04	-	平成7年度	同上	
医療福祉学部	4	140	5	570	-	1.02	1.01	-	平成9年度	-	
医療福祉・マネジメント学科	4	140	5	570	学士(医療福祉学) 学士(医療マネジメント学)	1.02	1.01	-	平成9年度	同上	
薬学部	6	180	-	1,080	-	1.05	1.04	-	平成18年度	-	
薬学科	6	180	-	1,080	学士(薬学)	1.05	1.04	-	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-	1.06	1.07	-	平成18年度	-	
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.08	1.08	-	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法)	1.04	1.06	-	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法)	1.05	1.05	-	平成18年度	同上	
福岡保健医療学部	4	220	-	920	-	1.06	1.03	-	平成17年度	-	
理学療法学科	4	60	-	280	学士(理学療法)	1.06	1.01	-	平成17年度	福岡県大川市榎津137-1	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法)	1.02	1.00	-	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚)	1.03	1.05	-	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査)	1.09	1.05	-	平成25年度	同上	
福岡薬学部	6	120	-	240	-	1.06	1.02	-	令和2年度	-	
薬学科	6	120	-	240	学士(薬学)	1.06	1.02	-	令和2年度	同上	

成田看護学部	4	100	-	400	-	1.09	1.08	-	平成28年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	1.08	-	平成28年度	千葉県成田市公津 の杜4丁目3番	
成田保健医療学部	4	290	-	1,060	-	1.08	1.08	-	平成28年度	-	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	1.08	-	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.08	1.07	-	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
放射線・情報科 学科	4	50	-	100	学士 (放射線・情報 科学)	1.08	1.08	-	令和2年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.08	1.08	-	平成28年度	同上	
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	4	120	-	480	-	1.05	1.05	-	平成30年度	-	
心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.07	1.03	-	平成30年度	東京都港区赤坂4 丁目1-26	
医療マネジメン ト学科	4	60	-	240	学士 (医療マネジメン ト学)	1.03	1.06	-	平成30年度	同上	
大学全体	-	2,045	5	8,410	-	-	-	-	平成7年度	-	
大学の名称	国際医療福祉大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	1	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		年度	年度	年度	
医療福祉学研究科 修士課程	2	235	-	470	-	1.09	0.94	-	平成11年度	-	
保健医療学専攻	2	160	-	320	修士 (保健医療 学)	1.29	1.07	-	平成11年度	栃木県大田原市北 金丸2600番1	
					修士 (看護学)			-			
					修士 (助産学)			-			
					修士 (言語聴覚 学)			-			
					修士 (生殖補助 医療学)			-			
					修士 (医療福祉教 育・管理学)			-			
					修士 (臨床検査 学)			-			
					修士 (災害医療 学)			-			

					修士 (遺伝カウンセリング学)			-			
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学)	1.06	0.92	-	平成13年度	同上	
					修士 (診療情報管理学)			-			
					修士 (医療ビジネス経営学)			-			
					修士 (医療福祉管理学)			-			
					修士 (医療福祉国際協力学)			-			
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-			
					修士 (自立支援介護学)			-			
					修士 (自立支援実践ケアマネジメント学)			-			
					修士 (医療福祉ジャーナリズム学)			-			
					修士 (医療通訳・国際医療マネジメント学)			-			
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	0.90	0.84	-	平成19年度	同上	
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	1.14	1.00	-	平成13年度	-	
保健医療学専攻	3	70	-	210	博士 (保健医療学)	1.14	1.00	-	平成13年度	同上	
					博士 (看護学)			-			
					博士 (助産学)			-			
					博士 (言語聴覚学)			-			
					博士 (生殖補助医療学)			-			
					博士 (医療福祉教育・管理学)			-			
					博士 (臨床検査学)			-			
					博士 (医療遺伝学)			-			

					博士 (医療福祉 経営学)			-			
					博士 (医療福祉 学)			-			
					博士 (診療情報 管理学)			-			
					博士 (医療福祉 国際協力 学)			-			
					博士 (介護福祉・ ケアマネジメント 学)			-			
					博士 (臨床心理 学)			-			
					博士 (医療福祉 ジャーナリズム 学)			-			
薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.20	0.20	-	平成22年度	-	
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.20	0.20	-	平成22年度	同上	
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.75	1.00	-	平成24年度	-	
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.75	1.00	-	平成24年度	同上	
医学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	2.05	2.10	-	平成30年度	-	
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生 学)	2.05	2.10	-	平成30年度	千葉県成田市公津 の杜4丁目3番	
					修士 (医科学)						
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.08	1.25	-	平成30年度	-	
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.08	1.25	-	平成30年度	同上	
大学院全体	-	345	-	810	-	1.04	1.04	-	平成11年度	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名		
専	教授	中田 光紀 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	中田 光紀 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	中田 光紀 (52) <平成30年4月> 博士(医学)	中田 光紀 (53) <平成30年4月> 博士(医学)	中田 光紀 (54) <平成30年4月> 博士(医学)	心理学 個人差の心理学 心理統計学講義Ⅰ(単変量解析) 心理統計学講義Ⅱ(多変量解析) 心理統計学演習Ⅰ(単変量解析) 心理統計学演習Ⅱ(多変量解析) 心理学研究法Ⅱ(質的研究法) 環境心理学 組織心理学 メンタルヘルス制度論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習	心理学 個人差の心理学 心理統計学講義Ⅰ(単変量解析) 心理統計学講義Ⅱ(多変量解析) 心理統計学演習Ⅰ(単変量解析) 心理統計学演習Ⅱ(多変量解析) 心理学研究法Ⅱ(質的研究法) 環境心理学 組織心理学 メンタルヘルス制度論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習	心理学概論 感情・人格心理学 心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義) 心理学統計法Ⅱ(多変量解析講義) 心理学統計法Ⅲ(単変量解析演習) 心理学統計法Ⅳ(多変量解析演習) 心理学研究法Ⅰ(量的研究法) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 環境心理学 産業・組織心理学 関係行政論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習	心理学概論 心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義) 心理学統計法Ⅱ(多変量解析講義) 心理学統計法Ⅲ(単変量解析演習) 心理学統計法Ⅳ(多変量解析演習) 心理学研究法Ⅰ(量的研究法) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 環境心理学	心理学概論 心理学統計法Ⅰ(単変量解析講義) 心理学統計法Ⅱ(多変量解析講義) 心理学統計法Ⅲ(単変量解析演習) 心理学統計法Ⅳ(多変量解析演習) 心理学研究法Ⅰ(量的研究法) 心理学入門演習 心理学中級演習 心理学上級演習 環境心理学
専	教授	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	亀口 憲治 (71) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	亀口 憲治 (72) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	亀口 憲治 (73) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	心理学 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理療法演習Ⅲ(事例検討) 家族心理学 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用)	心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理療法演習Ⅲ(事例検討) 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用)	心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理療法演習Ⅲ(事例検討) 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用)	心理学中級演習 心理学上級演習 心理療法演習Ⅲ(事例検討) 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用)	心理学中級演習 心理学上級演習 心理療法演習Ⅲ(事例検討) 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用)
専	教授	村上 正人 (68) <平成30年4月> 医学博士	村上 正人 (68) <平成30年4月> 医学博士	村上 正人 (69) <平成30年4月> 医学博士	村上 正人 (70) <平成30年4月> 医学博士	村上 正人 (71) <平成30年4月> 医学博士	心身医学 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習	心身医学	心身医学	心身医学	心身医学
専	教授	稲垣 誠一 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)	稲垣 誠一 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)	稲垣 誠一 (63) <平成30年4月> 博士(経済学)	稲垣 誠一 (64) <平成30年4月> 博士(経済学)	稲垣 誠一 (65) <平成30年4月> 博士(経済学)	数学	数学	数学	数学	数学
専	教授	川上 和久 (60) <平成30年4月> 社会心理学修士	川上 和久 (60) <平成30年4月> 社会心理学修士	川上 和久 (61) <平成30年4月> 社会心理学修士			社会学 社会心理学	社会学			
専	教授	平島 奈津子 (59) <平成32年4月> 博士(医学)	平島 奈津子 (59) <平成32年4月> 博士(医学)	平島 奈津子 (60) <平成32年4月> 博士(医学)	平島 奈津子 (61) <平成32年4月> 博士(医学)	平島 奈津子 (62) <平成32年4月> 博士(医学)	精神保健学	精神保健学	精神保健学	精神保健学	精神保健学
専	教授	和田 秀樹 (57) <平成32年4月> 博士(医学)	和田 秀樹 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	和田 秀樹 (58) <平成30年4月> 博士(医学)	和田 秀樹 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	和田 秀樹 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	精神医学	精神疾患とその治療	精神疾患とその治療 発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期) 心理演習Ⅰ(人間理解) 心理演習Ⅱ(ロールプレイング) 心理実習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	精神疾患とその治療 発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)	精神疾患とその治療 発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期)
専	教授	青木 万里 (55) <平成30年4月> 博士(心理学)	青木 万里 (55) <平成30年4月> 博士(心理学)	青木 万里 (56) <平成30年4月> 博士(心理学)			心理学 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 生涯発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期) 生涯発達心理学Ⅱ(成人期から高齢期) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 臨床心理学的地域援助論 臨床心理実習Ⅲ(保育・教育領域) 家族関係論演習 家族発達論	心理学概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅳ(保育・教育領域) 家族関係論演習 家族発達論 大学入門講座Ⅱ(展開) 臨床心理学概論 心理演習Ⅱ(ロールプレイング) 心理実習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	心理学概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 発達心理学Ⅰ(胎児期から青年期) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅳ(保育・教育領域) 家族関係論演習 家族発達論 大学入門講座Ⅱ(展開) 臨床心理学概論 心理演習Ⅱ(ロールプレイング) 心理実習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅲ(保健・医療領域)		







専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名			
						小堀 修 (42) <平成30年9月> 博士(学術博士)	心理学概論 関連職種連携論 関連職種連携実習 感情・人格心理学 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理的アセスメントⅡ(演習) 心理演習Ⅲ(事例検討) 健康・医療心理学 関係行政論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習 心理学研究法Ⅱ(質的研究法)									小堀 修 (43) <平成30年9月> 博士(学術博士)	心理学概論 関連職種連携論 関連職種連携実習 感情・人格心理学 心理学入門演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理的アセスメントⅡ(演習) 心理演習Ⅲ(事例検討) 健康・医療心理学 関係行政論 心理学研究法Ⅱ(質的研究法)	
						山川 誠司 (53) <平成30年4月> 修士(臨床心理学)	心理学概論 コミュニケーション概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 臨床心理アセスメント演習 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 健康心理学 臨床心理応用実習(産業・司法領域) メンタルヘルス制度論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習									山川 誠司 (54) <平成30年4月> 修士(臨床心理学)	心理学概論 コミュニケーション概論 大学入門講座Ⅱ(展開) 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理的アセスメントⅡ(演習) 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅴ(産業・司法領域) 大学入門講座Ⅰ(基礎) 心理演習Ⅰ(人間理解) 心理演習Ⅱ(ロールプレイング) 心理実習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	
						山川 誠司 (55) <平成30年4月> 修士(臨床心理学)	心理学概論 コミュニケーション概論 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理的アセスメントⅡ(演習) 心理実習Ⅴ(産業・司法領域) 心理演習Ⅰ(人間理解) 心理演習Ⅱ(ロールプレイング) 心理実習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅲ(保健・医療領域)									山川 誠司 (56) <平成30年4月> 修士(臨床心理学)	心理学概論 コミュニケーション概論 心理学入門演習 心理的アセスメントⅡ(演習) 心理実習Ⅴ(産業・司法領域) 心理演習Ⅰ(人間理解) 心理演習Ⅱ(ロールプレイング) 心理実習Ⅰ(基礎) 心理実習Ⅲ(保健・医療領域)	
						軽部 雄輝 (31) <平成31年4月> 博士(心理学)	心理学概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 教育・学校心理学 心理学入門演習 心理学初級演習 心理学中級演習 心理学上級演習 心理的アセスメントⅠ(講義) 心理的アセスメントⅡ(演習) 心理演習Ⅲ(事例検討)									軽部 雄輝 (32) <平成31年4月> 博士(心理学)	心理学概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 教育・学校心理学 心理学入門演習 心理学上級演習 心理的アセスメントⅠ(講義) 心理的アセスメントⅡ(演習) 心理演習Ⅲ(事例検討)	
						亀山 晶子 (39) <令和2年4月> 博士(心理学)	心理学概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 心理学初級演習 社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団) 社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族) 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用) 産業・組織心理学 家族関係論演習 家族発達論 関係行政論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習									亀山 晶子 (40) <令和2年4月> 博士(心理学)	心理学概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 心理学初級演習 社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団) 社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族) 家族援助技法講義 家族援助技法演習Ⅰ(基礎) 家族援助技法演習Ⅱ(応用) 産業・組織心理学 家族関係論演習 家族発達論 関係行政論 メンタルヘルスチェック制度演習 メンタルヘルス支援演習	
						岡本 淳子 (72) <平成30年4月> 文学士	心理学 障害者(児)の心理学 教育心理学 家族援助技法演習Ⅰ(基礎)										岡本 淳子 (73) <平成30年4月> 文学士	心理学概論 障害者・障害児心理学 教育・学校心理学 家族援助技法演習Ⅰ(基礎)
						飯長 喜一郎 (72) <平成30年4月> 教育学修士	心理学 臨床心理学概論 心理療法演習Ⅱ(ロールプレイング) 家族援助技法演習Ⅰ(基礎)										飯長 喜一郎 (73) <平成30年4月> 教育学修士	心理学概論 心理演習Ⅱ(ロールプレイング) 家族援助技法演習Ⅰ(基礎)
						鹿島 晴雄 (72) <平成30年4月> 医学博士	心理学 人間学										鹿島 晴雄 (73) <平成30年4月> 医学博士	心理学概論 人間学
						鹿島 晴雄 (74) <平成30年4月> 医学博士	心理学概論										鹿島 晴雄 (74) <平成30年4月> 医学博士	心理学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	教授	武藤 正樹 (69) <平成30年4月> 医学博士	武藤 正樹 (69) <平成30年4月> 医学博士	武藤 正樹 (70) <平成30年4月> 医学博士	武藤 正樹 (71) <平成30年4月> 医学博士	
		リスクマネジメント論	リスクマネジメント論	リスクマネジメント論	リスクマネジメント論	
兼任	教授	丸木 一成 (69) <平成30年4月> 教育学士		丸木 一成 (70) <平成31年4月> 教育学士	丸木 一成 (71) <平成31年4月> 教育学士	丸木 一成 (72) <平成31年4月> 教育学士
		大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)		保健医療福祉制度論	保健医療福祉制度論	保健医療福祉制度論
			兼任 教授	兼任 教授	兼任 教授	兼任 教授
			高橋 泰 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	高橋 泰 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	高橋 泰 (61) <平成30年4月> 博士(医学)	高橋 泰 (62) <平成30年4月> 博士(医学)
			関連職種連携論 人体の構造と機能及び疾病	関連職種連携論 人体の構造と機能及び疾病	関連職種連携論 人体の構造と機能及び疾病	関連職種連携論 人体の構造と機能及び疾病 関連職種連携実習
			小畑 洋一 (62) <平成30年4月> 文学学士	小畑 洋一 (63) <平成30年4月> 文学学士	小畑 洋一 (64) <平成30年4月> 文学学士	
			大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)	
兼任	教授	金野 充博 (61) <平成30年4月> 政治学士				
		保健医療福祉制度論				
			兼任 教授			
			石山 麗子 (49) <平成30年4月> 博士(医療福祉学)			
			保健医療福祉制度論			
兼任	教授	黒澤 和生 (60) <平成30年4月> 博士(保健学)	黒澤 和生 (60) <平成30年4月> 博士(保健学)	黒澤 和生 (61) <平成30年4月> 博士(保健学)	黒澤 和生 (62) <平成30年4月> 博士(保健学)	黒澤 和生 (63) <平成30年4月> 博士(保健学)
		医学/医療史	医学/医療史	医学/医療史	医学/医療史	医学/医療史
兼任	教授	北村 義浩 (57) <平成30年4月> 医学博士				
		国際医療福祉論				
			兼任 教授	兼任 教授	兼任 教授	兼任 教授
			後藤 純信 (46) <平成30年4月> 博士(医学)	後藤 純信 (47) <平成30年4月> 博士(医学)	後藤 純信 (48) <平成30年4月> 博士(医学)	後藤 純信 (49) <平成30年4月> 博士(医学)
			国際医療福祉論	国際医療福祉論	国際医療福祉論	国際医療福祉論
兼任	教授	谷口 敬道 (52) <平成30年4月> 博士(工学)	谷口 敬道 (52) <平成30年4月> 博士(工学)	谷口 敬道 (53) <平成30年4月> 博士(工学)	谷口 敬道 (54) <平成30年4月> 博士(工学)	谷口 敬道 (55) <平成30年4月> 博士(工学)
		医療福祉教養講義	医療福祉教養講義	医療福祉教養講義	医療福祉教養講義	医療福祉教養講義
兼任	教授	望月 聡一郎 (49) <平成30年4月>	望月 聡一郎 (49) <平成30年4月>	望月 聡一郎 (50) <平成30年4月>		
		災害医療論	災害医療論	災害医療論		
				兼任 教授		
				村瀬 真一 (56) <平成30年9月> 博士(医学)		
				生物学		
					兼任 教授	
				木村 伊量 (66) <令和2年4月> 学士(政治学)	木村 伊量 (67) <令和2年4月> 学士(政治学)	木村 伊量 (68) <令和2年4月> 学士(政治学)
				人間学	人間学	人間学
				兼任 教授	兼任 教授	兼任 教授
				横山 和仁 (67) <令和2年4月> 医学博士	横山 和仁 (68) <令和2年4月> 医学博士	横山 和仁 (68) <令和2年4月> 医学博士
				公衆衛生学	公衆衛生学	公衆衛生学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	田中 泰郎 (59) <平成30年4月> MA for TEFL/TESL (英国)												
		英語講読 I (Primary) 英語講読 II (Basic) 英語CALL I (Primary) 英語CALL II (Basic) 英語会話 I (Primary) 英語会話 II (Basic)												
			兼任	准教授	千葉 礼子 (52) <平成30年4月> 文学修士	兼任	准教授	千葉 礼子 (53) <平成30年4月> 文学修士	兼任	准教授	千葉 礼子 (54) <平成30年4月> 文学修士	兼任	准教授	千葉 礼子 (55) <平成30年4月> 文学修士
					英語講読 I (Primary) 英語講読 II (Basic)			英語講読 I (Primary) 英語講読 II (Basic)			英語講読 I (Primary) 英語講読 II (Basic)			英語講読 I (Primary) 英語講読 II (Basic)
兼任	准教授	小川 俊夫 (52) <平成32年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (52) <平成32年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (53) <平成32年4月> 博士(医学)						
		公衆衛生学			公衆衛生学			公衆衛生学						
兼任	准教授	金子 純一郎 (48) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (48) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (49) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (50) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (51) <平成30年4月> 博士(保健医療学)
		健康科学理論			健康科学理論			健康科学理論			健康科学理論			健康科学理論
兼任	准教授	岡村 世里奈 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	准教授	岡村 世里奈 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	准教授	岡村 世里奈 (48) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	准教授	岡村 世里奈 (49) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	准教授	岡村 世里奈 (50) <平成30年4月> 修士(法学)
		海外保健福祉事情			海外保健福祉事情			海外保健福祉事情			海外保健福祉事情			海外保健福祉事情 リスクマネジメント論
兼任	准教授	福井 謙 (46) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (46) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (47) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (48) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (49) <平成30年4月> 博士(学術)
		日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史
兼任	准教授	篠原 信夫 (44) <平成30年4月> 修士(理学)	兼任	准教授	篠原 信夫 (44) <平成30年4月> 修士(理学)	兼任	准教授	篠原 信夫 (45) <平成30年4月> 修士(理学)						
		コンピュータの基礎			コンピュータの基礎			コンピュータの基礎						
兼任	准教授	大石 剛史 (42) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (42) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (43) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (43) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (44) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)
		ボランティア論			ボランティア論			ボランティア論			ボランティア論			ボランティア論
			兼任	准教授	光山 奈保子 (50) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	光山 奈保子 (51) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	光山 奈保子 (52) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	光山 奈保子 (53) <平成30年4月> 博士(学術)
					経済学			経済学			経済学			経済学
			兼任	准教授	坂本 真史 (44) <平成30年4月> 法務博士(専門職)	兼任	准教授	坂本 真史 (45) <平成30年4月> 法務博士(専門職)	兼任	准教授	坂本 真史 (46) <平成30年4月> 法務博士(専門職)	兼任	准教授	坂本 真史 (47) <平成30年4月> 法務博士(専門職)
					法学			法学			法学			法学
									兼任	准教授	渡邊 志 (49) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	渡邊 志 (50) <令和2年4月> 博士(学術)
											コンピュータの基礎			コンピュータの基礎









(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・和田秀樹教授の担当科目の開講は平成32年度であるが、学生指導等に携わっていただくため平成30年度就任に変更。
- ・学内都合により丸木一成教授の異動ができなくなったため、小畑洋一教授に変更（教員審査省略）。
- ・石山麗子教授着任に伴い、金野充博教授から変更（教員審査省略）。
- ・北村義浩教授退職のため、後藤純信教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により田中泰郎准教授の担当が難しくなったため、千葉礼子准教授、及び新たに着任したチェンバレン暁子講師、マシュー・マグラフリン・ジェームス講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により佐藤寛子講師の担当が難しくなったため、千葉礼子准教授、及び新たに着任したチェンバレン暁子講師、マシュー・マグラフリン・ジェームス講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により宮森隆行講師の担当が難しくなったため、久永哲雄講師に変更（教員審査省略）。
- ・寺田佳孝講師退職のため、鶴田利郎講師に変更（教員審査省略）。
- ・坂本真史准教授着任に伴い、奥津康祐講師から変更（教員審査省略）。
- ・光山奈保子准教授着任に伴い、廣瀬千秋講師から変更（教員審査省略）。
- ・公認心理師法施行に伴う新科目担当者として、平成32年4月竹内瑠美講師就任予定（教員審査省略）。

【令和元年度】

- ・平成30年9月小堀修准教授が就任。平成30年6月教員審査済み。
- ・波田野茂幸准教授が平成31年3月に自己都合による退職のため、担当科目の見直しを行い青木万里教授、和田秀樹教授、小島秀吾准教授、小野寺敦志准教授、白井明美准教授、小堀修准教授、山川誠司助教に変更（教員審査実施済み）。心理的アセスメントIについては軽部雄輝助教に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により石山麗子教授の担当が難しくなったため、丸木一成教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により林真理子講師の担当が難しくなったため、村瀬真一教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により久永哲雄講師の担当が難しくなったため、小高晃講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合により相澤裕紀講師の担当が難しくなったため、玉木賢太郎講師、及び鷹阪龍太講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合により竹内瑠美講師の担当が難しくなったため、小野寺敦志准教授、及び中田光紀教授に変更（教員審査済み）。

【令和2年度】

- ・令和元年9月軽部雄輝助教が就任。令和元年5月教員審査済。
- ・令和2年4月亀山晶子助教が就任。令和元年7月教員審査済。
- ・川上和久教授が令和2年3月に自己都合による退職のため、小田中悠講師に変更（教員審査省略）。
- ・青木万里教授が令和2年3月に自己都合による退職のため、担当科目の見直しを行い、軽部雄輝助教（令和元年5月教員審査済）、亀山晶子助教（令和元年7月教員審査済）、橋本和典准教授（教員審査省略）、袴田優子講師（教員審査省略）に変更。
- ・穴水幸子准教授が令和2年3月に自己都合による退職のため、袴田優子講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により鹿島晴雄教授の「人間学」の担当が難しくなったため、木村伊量教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により村瀬真一教授の担当が難しくなったため、山田晋之介助教に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により篠原信夫准教授の担当が難しくなったため、渡邊志准教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により岡本淳子教授の担当が難しくなったため、白井明美准教授に変更（教員審査中、5月末伝達予定）。
- ・自己都合等により飯長喜一郎教授の担当が難しくなったため、橋本和典准教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により望月聡一郎教授の担当が難しくなったため、石井美恵子教授、内海清乃助教に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により小川俊夫准教授の担当が難しくなったため、横山和仁教授に変更（教員審査省略）。

【令和3年度】

- ・令和2年9月橋本和典准教授が就任。令和2年7月教員審査済。
- ・令和2年7月白井明美准教授が教授に昇格。令和2年5月教員審査済。
- ・袴田優子講師が令和3年3月に自己都合による退職のため、佐藤篤司講師（教員審査申請済）、浦川加代子講師（教員審査省略）、中村美穂講師（教員審査申請済）に変更。
- ・軽部雄輝助教が令和3年3月に自己都合による退職のため、大塚雄作教授（教員審査申請済）、佐藤篤司講師（教員審査申請済）に変更。
- ・自己都合により鹿島晴雄教授の担当が難しくなったため、佐藤篤司講師に変更（教員審査申請済）。
- ・自己都合により武藤正樹教授の担当が難しくなったため、岡村世里奈准教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合により小畑洋一教授の担当が難しくなったため、田中秀一教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合により玉木賢太郎講師の担当が難しくなったため、飯田諒介講師に変更（教員審査省略）。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
9	5	0	1	15	0	8	4	0	2	14	0
(6)	(5)	(0)	(1)	(12)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	4	0	2	14	0	9	4	3	1	17	0
[ Δ1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	3 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{15} = \boxed{93.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{14} = \boxed{21.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	波田野 茂幸	H31.3	必修	心理学概論	①	自己都合により辞任（元）
				必修	心理学入門演習	①	
				必修	心理学初級演習	①	
				必修	心理学中級演習	①	
				必修	心理学上級演習	①	
				必修	心理的アセスメントⅠ	②	
				必修	心理的アセスメントⅡ	①	
				選択	家族援助技法演習Ⅰ	①	
				必修	心理実習Ⅰ	①	
				選択	心理実習Ⅱ	①	
				選択	心理実習Ⅳ	①	
選択	心理実習Ⅴ	①					
2	教授	青木 万里	R2.3	必修	心理学概論	②	自己都合により辞任（2）
				必修	大学入門講座Ⅰ（基礎）	①	
				必修	大学入門講座Ⅱ（展開）	①	
				必修	心理学入門演習	①	
				必修	心理学初級演習	①	
				必修	心理学中級演習	①	
				必修	心理学上級演習	①	
				必修	発達心理学Ⅰ（胎児期から青年期）	②	
				必修	臨床心理学概論	②	
				必修	心理演習Ⅱ（ロールプレイング）	②	
				必修	心理実習Ⅰ（基礎）	②	
				必修	心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	②	
				選択	心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	②	
				選択	家族援助技法演習Ⅰ（基礎）	①	
				選択	家族関係論演習	①	
選択	家族発達論	①					
3	教授	川上 和久	R2.3	選択	社会学	②	自己都合により辞任（2）
4	准教授	穴水 幸子	R2.3	必修	心理学概論	②	自己都合により辞任（2）
				必修	雑談と傾聴	②	
				必修	心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	②	
				選択	心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	②	
5	講師	袴田 優子	R3.3	必修	心理学概論	②	自己都合により辞任（3）
				必修	雑談と傾聴	②	
				必修	臨床心理学概論	②	
				必修	心理学入門演習	①	
				必修	心理学上級演習	①	
				必修	心理演習Ⅰ（人間理解）	②	
				必修	心理演習Ⅱ（ロールプレイング）	②	
				必修	心理実習Ⅰ（基礎）	②	
				必修	心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	②	
				必修	心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	②	
選択	心理実習Ⅴ（産業・司法領域）	①					

6	助教	輕部 雄輝	R3.3	必修	心理学概論	②	自己都合により辞任(3)		
				必修	大学入門講座Ⅰ(基礎)	①			
				必修	大学入門講座Ⅱ(展開)	①			
				必修	教育・学校心理学	②			
				必修	心理学入門演習	②			
				必修	心理学上級演習	①			
				必修	心理的アセスメントⅠ(講義)	②			
				必修	心理的アセスメントⅡ(演習)	②			
	選択	心理演習Ⅲ(事例検討)	②						
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
6	人	必修	41 科目	必修	18 科目	必修	23 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	8 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	53 科目	計	26 科目	計	27 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
6	人	必修	41 科目	必修	18 科目	必修	23 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	8 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	53 科目	計	26 科目	計	27 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{6}{15} = \boxed{40} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全員必須科目の授業時間内に退職の旨をあらかじめ口頭にて周知連絡をした。さらに新たな科目担当者についてはシラバスに明記し、かつWeb上で閲覧可能としている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	留意事項	履行状況	今後の実施計画	
設置時 (平成30年4月)	<p>臨地実習は観察学習や見学を行うこととして いる一方で、実習内容 では、「きびきびとし た動作で仕事ができ る」ことや、「ゆっく りと、大きな声でい ねに説明できる」こ となど、作業実習を行 うように見受けられ ることから、整合性 が取れていない。ま た、各領域の実習科 目の内容について、 対象実習施設以外 はほぼ同様の記載 であり、各領域の実 習科目の具体的な内 容が学生にとって分 りにくい。以上の点 から、各領域の実習 の内容の違いや、実 習で「見学」に重 きを置くのであれば そのことを、実習要 項及びシラバス等で 明確に示すこと。</p>	留意事項	<p>留意事項での指摘に従い、 心理実習Ⅰおよび心理実 習Ⅱにおいてシラバスを修正 した。実習要項の各領域の 実習科目の内容について は、指摘に沿って修正し た。いずれも各領域の内 容と目的、違いが明確に なるようにした。 3年次に開講される心理実 習Ⅲ、心理実習Ⅳ、心理実 習Ⅴのシラバスについて も留意事項を踏まえて修 正中である。 (元)</p> <p>3年次に開講される心理実 習Ⅲ、心理実習Ⅳ、心理実 習Ⅴのシラバスを修正し、 学生に公開すると同時 に、実習要項を配布し た。(2)</p> <p>心理実習Ⅰ～Ⅴのシラ バスに見学実習である旨 を記載している。また 実習前には学生に再度 説明を行う。 (3)</p>	履行済	
設置時 (平成30年4月)	<p>心理学に関する演習 (入門・初級・中級・ 上級)のうち入門・初 級について、内容が 「心理学」の演習であ るのか明確ではないた め、心理学で求められ る統計調査等、心理 学に関する内容を行 うことで専門基礎科 目としてふさわしい 内容となるようシラ バスを修正すること。</p>	留意事項	<p>留意事項での指摘に従い、 心理学入門演習および 心理学初級演習にお いてシラバスを修正し 心理学に関する演習 であることが明確に なるようにした。な お修正シラバスには それぞれ第27回及 び28回の授業で「 心理学で求められる 統計調査」「心理 学で求められる統 計法」を含め、心理 学研究に関する様 々な統計法を学 び、全体を通して 専門領域に関する 研究の基礎を習 得できるように した。(30)</p>	履行済	
設置時 (平成30年4月)	<p>完成年度前に、定 年規程に定める退 職年齢を超える専 任教員数の割合が 比較的高いことか ら、定年規程の趣 旨を踏まえた適切 な運用に努めると ともに、教員組織 編制の将来構想に ついて着実に実施 すること。</p>	留意事項	<p>平成30年9月1日付 で41才(就任時年 齢)の准教授1名 を採用し就任して いる(平成30年6 月教員審査済み)。 (元)</p> <p>令和元年9月1日 付で31才(就任 時年齢)の助教1 名、令和2年4月 1日付で38才(就 任時年齢)の助教 1名を採用し、就 任している(両教 員とも教員審査 済み)。また、30 代・40代の教員 の任用を予定し ており、教員審 査受審に向けて 準備中である。(2)</p> <p>令和3年9月に向 けて、40代2名 の教員の任用を 予定しており、 教員審査受審に 向け準備中であ る。(3)</p>	履行中	<p>今後も積極的に若 手教員を任用・採 用する方針を継 続していく予定 である。</p>

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況  
学則に基づき大学としてFD委員会を置き、東京赤坂キャンパスには「東京赤坂キャンパスFD委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)  
令和2年度には年間2回の委員会を実施。また全キャンパスのFD委員長が参加するFD委員長会議は年間3回実施し、活発な議論を行った。

c 委員会の審議事項等  
FD研修会の開催などによる教員の資質向上、授業アンケートの実施の審議および学科ごとに行われてるFD活動の情報共有などを行う。

② 実施状況

a 実施内容

ア) 大学全体でのFD研修会(年2回、9月、3月)  
キャンパスが持ち回りで主催。外部講師を招聘した多職種連携教育、ポートフォリオなどのテーマで講演を行う。令和2年度テーマは「発達障害学生に対する組織的な修学・就職支援の取り組み—実践例をもとにした具体的対策について—」として開催した。

イ) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部主催のFD研修会(2月に実施)  
コロナ禍における必要性の高いテーマとして「Google classroomの使い方(基礎編)」と題し、講演会を実施した。

b 実施方法

ア) 大学全体でのFD研修会(年2回、9月、3月)  
同時双方向型のオンライン形式にて実施した。

イ) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部主催のFD研修会(2月に実施)  
同時双方向型のオンライン形式にて実施した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)  
映像収録を行い、学内で公開しており、原則として全員参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
令和2年度2回の教員研修会についてはいずれも参加教員の満足度は大変高く、学生指導に有効であるとの感想が寄せられた。具体的な授業などへの反映状況は今後の委員会で調査していく予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期  
前期・後期それぞれ全授業科目について実施した。15回の授業のうち14回または15回目にアンケートを行っている。原則として全履修者が回答する。

b 教員や学生への公開状況、方法等  
各教員には集計結果をフィードバックするとともに学生満足度の高い教員1名を、グッドティーチング賞として表彰している。また学生へはWeb上にて集計結果を公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は心理学的知識を修得した認定心理士、公認心理師や臨床心理士を目差す心のケアの専門家、あるいは子どもや家族の支援を専門とする心理職の育成を目標に教育・研究を行うこととしている。設置認可後に公認心理師法が施行されたためカリキュラム改編を見直しつつ、設置の趣旨・目的の達成に向け、取り組んでいる。開設時の留意事項については厳粛に受け止め改善に努めており、特に若手教員の確保については積極的に取り組み、改善されている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体として令和2年度に行った自己点検・評価については、公表済である。令和3年度は公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定であり、これを機に3つのポリシーの改定を行うと同時に、学位別の教育プログラム評価の体制も構築している。

b 公表方法

大学ホームページ上に公開済み。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 国際医療福祉大学 FD 委員会規程

### (設置)

第1条 国際医療福祉大学学則第11条に基づき、本学にFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### (目的)

第2条 委員会は、本学の定める教学の基本方針にしたがい、教育法の改善及び教員の資質の向上などFD（ファカルティ・ディベロプメント）に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るものとする。

### (委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 一 学部長の意見を聴いて学長が指名する各学科の専任教員、及びセンターがある場合にあってはセンターの専任教員
- 二 学長が指名した者
- 三 理事長が推薦した者

2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の中から学長が指名する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

### (委員会の成立)

第5条 委員会は、過半数の委員の出席により成立する。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

### (委員以外の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

### (小委員会の設置)

第7条 各キャンパスにFD小委員会を置くことができる。

- 2 小委員会の運営については別に定める。

### (事務処理)

第8条 委員会の事務は、大田原事務部教務事務主管課が取り扱い、小委員会の事務は、各キャンパス教務事務主管課が取り扱う。

### (雑則)

第9条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て学長が別に定める。

### (改廃)

第10条 この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

2021/05/30(日)15:33

国際医療福祉大学 授業計画 (シラバス)				キャンパス	東京キャンパス
科目名	心理実習 I (基礎)			授業開始年度	2021
科目担当責任者	白井 明美	科目担当者	小野寺 敦志、山川 誠司、橋本 和典、佐藤 篤司		
学科	心理学科	学年	2学年	期	前期
曜日時限	木曜3限	必修/選択	必修	単位数	1
				時間数	45時間
授業の形態	□講義 □演習 ■実習 □実験 □実技 □その他 ( )				
アクティブラーニング (AL)	■Aディスカッションディベート ■Bグループワーク ■Cプレゼンテーション ■D実習/フィールドワーク □Eその他 ( )				
クラスコード	pzh5sal				
授業の概要 (主題)	臨床現場で実習を行う意味と、そのために求められる基本的な態度や意識について学習し、今後の実習活動に必要な準備を行うことを目的とする。さらに、教師の役割についても伝え、安全な実習が実現できるように、自己準備をしていく感覚を目指す。具体的には、臨床現場にて実習を通して何を学ぶかという課題作成、管理意識や倫理について学習する。また、実習を行う上での基本的マナー、知識、技能、実習開始に必要な手続き、実習先の決め方、報告の仕方についても学ぶ。臨床実習の体験を深化させ、意識化していくためには省察が必要である。そのためにこの授業では、各々の実習現場に臨むための心理的構えを含む事前学習を行う。また、実習経験を素材にし、自らを振り返っていく学習の方法や、グループでの学習を通して自己発見していく体験を行っていくことで、対人援助を行う際の自己テーマについて気づくことを目標とする。さらに講義で習得した知識と実習経験を繋ぎ、実習経験の意味付けを行う。学習を通して、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的業務への基礎的な理解を学ぶ。				
授業の到達目標	1 心理実習の概要と意義を理解し、必要な準備作業、手続き等を理解する。 2 見学実習を行う際の倫理意識、態度について習得する。 3 心理実習での学習の仕方、議論の持ち方、報告の仕方について習得する。				
対応するDP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。				
対応するCP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。				
履修条件	心理学科であること。				
教科書	指定しない。				
参考書	講義時に指示する。				
準備学修	講義において提示した関連用語の意味等を調べ理解しておくこと。				
課題等に関するフィードバック	授業内にて適宜回答する。				
その他アドバイス	いかなる理由を問わず、見学実習に参加していない者は単位を付与しない。 欠席はしないこと。				
成績評価の方法	レポート・その他 (授業へ取り組む態度等)				
評価の基準	レポート 70% 報告会の取り組み・資料作成・発表等 30%				
本授業に関連する実務経験等	心理臨床現場での豊富な実務経験を有している。				
実務経験等の授業への展開	心理支援業務で培った経験を生かした内容も講義中に扱う。				
オフィスアワー	山川 = 水曜日 12:10~13:00 6階心理学科事務室 小野寺 = 水曜日 12:20-12:50 研究室E924 白井 = 水曜日 12:10~13:00 研究室E919 橋本 = 火曜日 12:20~12:50 研究室E1008 佐藤 = 水曜日 昼休み 共同研究室2				
その他					
授業計画					



回数	内容	対応するAL	担当
第1回 4/8	オリエンテーション 心理実習に関して	A	担当者全員 メイン白井
第2回 4/15	公認心理師をめざして 公認心理師業務に関して 公認心理師養成カリキュラムにおける実習位置づけ、意義とその概要について	A	担当者全員 メイン小野寺
第3回 4/22	事前学習の意義(1) 実習施設を理解すること 事前学習の意義(2) 自分を理解すること	A	担当者全員 メイン橋本
第4回 4/29	実習の基本的姿勢と留意点(1) 実習生が守るべき義務と心得、マナーについて	A, B	担当者全員 メイン山川
第5回 5/13	実習の基本的姿勢と留意点(2) 実習に関する留意点と実習契約・事務手続き等	A, B	担当者全員 メイン小野寺
第6回 5/20	実習計画書の作成、記録の意義, 書き方の留意点, まとめの書き方等について	A, B	担当者全員 メイン山川
第7回 5/27	事後学習の仕方について 振り返りの意義、振り返りの仕方等について	A, B	担当者全員 メイン白井
第8回 6/3	見学実習オリエンテーション 実習中の態度について (注意事項、行程確認等)	A, B	担当者全員 メイン山川
第9回 6/10	グループごとに見学実習 赤坂心理相談室 見学実習にあたっていないグループは、事前、事後学習の継続	D	担当者全員 メイン小野寺
第10回 6/17	グループごとに見学実習 赤坂心理相談室 見学実習にあたっていないグループは、事前、事後学習の継続	D	担当者全員 メイン橋本
第11回6/ 24	グループごとに見学実習 赤坂心理相談室 見学実習にあたっていないグループは、事前、事後学習の継続	D	担当者全員 メイン山川
第12回7/ 1	実習報告レポートの作成	A, B	担当者全員 メイン山川
第13回 7/8	実習の事後学習 グループディスカッションと実習報告会の準備	A, B	担当者全員 メイン山川
第14回7/ 15	実習報告会 グループごとの発表、質疑応答、指導①	A, C	担当者全員 メイン橋本
第15回7/ 22	実習報告会 グループごとの発表、質疑応答、指導②	A, B	担当者全員 メイン白井

国際医療福祉大学 授業計画 (シラバス)				キャンパス	東京キャンパス
科目名	心理実習Ⅱ (福祉領域)			授業開始年度	2021
科目担当責任者	小野寺 敦志	科目担当者	白井 明美		
学科	心理学科	学年	2年	期	後期
曜日時限	火曜5限	必修/選択	選択	単位数	1 時間数 45時間
授業の形態	□講義 □演習 ■実習 □実験 □実技 □その他 ( )				
アクティブラーニング (AL)	■Aディスカッション/ディベート ■Bグループワーク ■Cプレゼンテーション ■D実習/フィールドワーク □Eその他 ( )				
クラスコード	bfvplxi				

授業の概要 (主題)	この授業では心理臨床に関する福祉領域の臨床フィールドに出向き、ボランティア等の活動を行いながら実際の現場に関与した体験を素材とし、心理臨床に必要な感覚や知識・技能について学ぶことを目指す。事前に該当分野の現状と課題についてグループ学習を行い目標を焦点化する。実際の見学実習ではその目標が達成できるよう、積極的なかわりが求められる。見学後は、各自の問題意識が解決されたかどうかの確認と教員からのフィードバックを行うものとする。福祉施設の予定箇所としては、本学関連施設である那須子ども家 (情緒障害児短期治療施設)、新宿けやき園 (特別養護老人ホーム)、ほか近隣の福祉施設がある。実習報告をまとめて全体での報告会にて振り返りを行い指導を受けていく。これらの見学実習を行うことで、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的業務への実践的な理解を学ぶ。
授業の到達目標	1 福祉領域における心理実習の概要と意義、見学を行う上での倫理意識や態度を理解すること。 2 施設での見学実習を通して学習した内容を適切に言葉にし、記録ができること。 3 見学実習での体験を議論し、学習した内容をまとめて、報告できること。
対応するDP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
対応するCP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
履修条件	いかなる理由を問わず、見学実習に参加していない者は単位を付与しない。 欠席はしないこと。

教科書	講義時に適宜指示します。
参考書	講義時に適宜指示します。
準備学修	講義において提示した関連用語の意味等を調べ理解しておくこと。
課題等に関するフィードバック	授業内にて適宜回答する。
その他アドバイス	

成績評価の方法	小テスト・レポート・その他 (授業へ取り組む態度等)
評価の基準	小テスト 30% レポート 40パーセント 報告会の取り組み・資料作成・発表等 30%

本授業に関連する実務経験等	臨床心理士
実務経験等の授業への展開	培った経験を生かした内容も講義中に扱う。
オフィスアワー	(白井) 水曜日12:10~13:00 E919研究室 (小野寺) 水曜日12:10~13:00 E924研究室
その他	

授業計画			
回数	内容	対応するAL	担当
第1回	オリエンテーション 福祉分野の心理実習に関して概要を知る	B	小野寺・白井
第2回	福祉分野における公認心理師業務に関して 法的制度を概観し倫理	A,B	小野寺・白井

	を知る		
第3回	事前学習(1) 実習の目標を知る	B	小野寺・白井
第4回	事前学習(2) 自己の課題を立てる	B	小野寺・白井
第5回	事前学習(3) 実習先を知る (障害者支援施設、那須子どもの家等)	?	小野寺・白井
第6回	事前学習(4) 実習先を知る (新宿けやき園)	?	小野寺・白井
第7回	見学実習オリエンテーション 実習中の態度について (注意事項、行程確認等)	?	小野寺・白井
第8回	学外施設見学実習(1) (障害者支援施設、那須子どもの家等)	?	小野寺・白井
第9回	学外施設見学実習(2) (新宿けやき園等)	?	小野寺・白井
第10回	実習報告レポートの作成(1) (障害者支援施設、那須子どもの家等)	B	小野寺・白井
第11回	実習報告レポートの作成(2) (新宿けやき園)	B	小野寺・白井
第12回	実習の事後学習(1) グループディスカッションと実習報告会の準備 (障害者支援施設等)	A,B	小野寺・白井
第13回	実習の事後学習(2) グループディスカッションと実習報告会の準備 (新宿けやき園等)	A,B	小野寺・白井
第14回	実習報告会 グループごとの発表、質疑応答、指導	C	小野寺・白井
第15回	まとめ 授業全体を振り返り学習したことをまとめる	B	小野寺・白井

国際医療福祉大学 授業計画 (シラバス)				キャンパス	東京キャンパス
科目名	心理実習Ⅲ(保健・医療領域)			授業開始年度	2021
科目担当責任者	小島 秀吾	科目担当者	小野寺 敦志、山川 誠司、橋本 和典、佐藤 篤司		
学科	心理学科	学年	3年	期	前期
曜日時限	火曜3限	必修/選択	必修	単位数	1
				時間数	45
授業の形態	実習				
アクティブラーニング (AL)	Aディスカッション/ディベート、Bグループワーク、Cプレゼンテーション、D実習/フィールドワーク				
クラスコード	nauy2qb				

授業の概要 (主題)	医療保健領域において、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどの各種専門職が、それぞれどのような役割を担い、どのように連携して医療サービスを提供しているか、また、医療現場において心理臨床家はどのような役割を果たしているのか、病院の見学実習を行いながら、実践的知識を学ぶ。さらに、病院で働く専門的職業人として身につけるべき態度、心構えを学ぶ。
授業の到達目標	① 医療保健領域における各種専門職の役割と、多職種連携の実際を学ぶ。 ② 医療保健領域における心理職の役割と、他職種との連携のあり方を学ぶ。 ③ 医療現場における専門的職業人としての態度、心構えを身につける。
対応するDP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
対応するCP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
履修条件	

教科書	指定しない
参考書	指定しない
準備学修	見学前：授業の中で紹介する参考資料を事前に読んでおく (60分) 見学前：見学実習前に施設情報を収集し、質問事項を明らかにしておく (60分) 見学後：実習時の記録物をまとめておく (60分)
課題等に関するフィードバック	発表内容については、それぞれの授業時間内に行う。
その他アドバイス	

成績評価の方法	実習評価、レポート
評価の基準	実習評価 5割、レポート評価 5割

本授業に関連する実務経験等	小島：精神科医、臨床心理士、公認心理師としての当該領域の経験を豊富に有している。 他教員：医療分野での臨床経験（公認心理師、臨床心理士）がある。
実務経験等の授業への展開	現場での留意すべき事項等を臨床経験をもとに教授する。
オフィスアワー	小島＝水曜日 12:30-13:10 E911研究室 小野寺＝水曜 12:20-12:50 E924 山川＝水曜 12:10～13:00 6階心理学科事務室 橋本＝火曜日 昼休み E1008研究室 佐藤＝水曜 昼休み 9階共同研究室 2
その他	4グループに分かれ、6/3、6/10、6/17、6/24に見学実習を行う予定であるが、状況により変更あり。また、見学参加の事前にPCR検査を受ける必要あり。詳細は追って通知する。

授業計画			
回数	内容	対応するAL	担当
第1回	オリエンテーション	-	
第2回	医療現場における多職種連携のあり方①	A,B	
第3回	医療現場における多職種連携のあり方②	A,B	
第4回	医療現場における多職種連携のあり方③	A,B	
第5回	医療現場における多職種連携のあり方④	A,B	

第6回	医療現場における多職種連携のあり方⑤	A,B	
第7回	医療現場における多職種連携のあり方⑥	B,C	
第8回	医療現場における心理職の役割①	A,B,D	
第9回	医療現場における心理職の役割②	A,B,D	
第10回	医療現場における心理職の役割③	A,B,D	
第11回	医療現場における心理職の役割④	A,B,D	
第12回	医療現場における心理職の役割⑤	B,C	
第13回	医療現場における心理職の役割⑥	B,C	
第14回	医療現場における心理職の態度と心構え	A	
第15回	まとめ	-	

国際医療福祉大学 授業計画 (シラバス)				キャンパス	東京キャンパス
科目名	心理実習Ⅳ (保育・教育領域)			授業開始年度	2021
科目担当責任者	橋本 和典	科目担当者	佐藤 篤司		
学科	心理学科	学年	3学年	期	後期
曜日時限	火曜5限	必修/選択	選択	単位数	1
				時間数	45
授業の形態	□講義 □演習 ■実習 □実験 □実技 □その他 ( )				
アクティブラーニング (AL)	■A ディスカッション/ディベート ■B グループワーク ■C プレゼンテーション ■D 実習/フィールドワーク □E その他( )				
クラスコード	hj5sbyp				

授業の概要 (主題)	この実習では保育・教育領域の実践現場に出向き、見学およびボランティア活動ならびに現場の保育者・教員との交流を行う。それらを通じて、保育 (学校) カウンセリングの実践について体験的に学ぶ。まず保育 (学校) カウンセリングの理論と実際について予備学習を行った後、現場に出向く。今年度における主な実習先は、大学グループ内の保育園である。これらの見学実習を行うことで、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的業務への実践的な理解を学ぶ。
授業の到達目標	1. 保育・教育現場での見学実習にあたり、事前学習の中での問題意識について説明できる。 2. 保育・教育現場での見学実習体験での学習内容を、問題意識を踏まえて記述し、報告できる。 3. 保育・教育現場での心理社会的課題と支援の在り方や多職種連携等について、自らの気づきも含めて、適切な文章で表現できる。
対応するDP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
対応するCP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
履修条件	実習先は、赤坂山王保育園 (東京赤坂キャンパス隣のW棟3F)。 見学実習先との都合上、夏季集中および後期前半で実習を行う。全日程参加できることを条件とする。 前期中に受講希望者を募る。履修条件を満たした受講生は改めて後期に履修登録すること。

教科書	指定しない
参考書	講義時に適宜指示します
準備学修	(予習) 講義において提示した関連用語の意味等を事前に調べ理解しておくこと (60分)。 (復習) 学修した内容を見直してノートにまとめること (60分)。
課題等に関するフィードバック	授業内にて適宜回答する。
その他アドバイス	保育・教育領域に関する新聞やニュース情報を意識して確認すること。

成績評価の方法	レポート、その他 (授業へ取り組む態度等)
評価の基準	レポート (70%)、報告会の取り組み・資料作成・発表等 (30%)

本授業に関連する実務経験等	心理専門職としての現場経験がある。
実務経験等の授業への展開	心理臨床活動の実際と課題を概説し、保育・教育領域での心理臨床の理解を深める。
オフィスアワー	橋本 = 火曜日 昼休み 研究室E1008 佐藤 = 水曜日 昼休み 9階共同研究室2
その他	いかなる理由を問わず、見学実習に参加していない場合は単位を付与しない。 実習科目のため、授業に欠席しないこと。

授業計画			
回数	内容	対応するAL	担当
第1回 8月31日	事前学習 1) 保育・教育分野における公認心理師業務に関して法的制度を概観し、倫理を知る	AB	科目担当者全員

4限	2) 実習の目標設定 3) 自己課題設定 4) 実習先の調べ学習 5) 見学実習の心構え (注意事項・日程確認)		
第2回	事前オリエンテーション 赤坂山王保育園で実施する。 9月初旬を予定。	AB	科目担当者全員
第3回	見学実習 (1) 9月初旬を予定。	D	科目担当者全員
第4回	見学実習 (2)	D	科目担当者全員
第5回	見学実習 (3)	D	科目担当者全員
第6回	見学実習 (4)	D	科目担当者全員
第7回	見学実習 (5)	D	科目担当者全員
第8回	見学実習 (6)	D	科目担当者全員
第9回	見学実習 (7)	D	科目担当者全員
第10回 9月28日 4限	事後の振り返り プレゼンテーションのグループ決め 実習報告書の作成指導	AB	科目担当者全員
第11回 10月5日 4限	報告会・事後授業 (1)	ABC	科目担当者全員
第12回 10月12日 4限	報告会・事後授業 (2)	ABC	科目担当者全員
第13回 10月19日 4限	報告会・事後授業 (3)	ABC	科目担当者全員
第14回 10月26日 4限	報告会・事後授業 (4)	ABC	科目担当者全員
第15回 11月2日 4限	まとめ 実習報告レポートの作成指導	AB	科目担当者全員



国際医療福祉大学 授業計画 (シラバス)				キャンパス	東京キャンパス
科目名	心理実習V(産業・司法領域)			授業開始年度	2021
科目担当責任者	山川 誠司	科目担当者	小島 秀吾		
学科	心理学科	学年	3	期	後期
曜日時限	火曜5限	必修/選択	必修	単位数	1
				時間数	45
授業の形態	■講義 □ 演習 ■実習 □ 実験 □ 実技 □ その他 ( )				
アクティブラーニング (AL)	■A ディスカッションディベート ■ B グループワーク ■ C プレゼンテーション ■D 実習 フィールドワーク □ E その他 ( )				
クラスコード	sw76764				

授業の概要 (主題)	産業領域の外部実習施設に出向き、臨床場面の見学等の活動を行い、産業領域において、心理臨床に必要な感覚や知識・技能について学ぶ。事前に該当分野の現状と課題についてグループ学習を行い目標を焦点化する。見学実習ではその目標を達成するための積極的なかかわりを促す。見学実習後、各自の問題意識が解決されたかどうかの確認と教員からのフィードバックを行う。これらの見学実習を行うことで、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的業務への実践的な理解を学ぶ。
授業の到達目標	1. 産業現場での見学実習にあたり、事前学習中での問題意識について説明できる。 2. 産業現場での見学実習体験での学習内容を問題意識を踏まえて記述し、報告できる。 3. 産業現場での心理社会的課題と支援の在り方や多職種連携等について、自らの気づきも含めて、適切な文章を表現できる。
対応するDP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
対応するCP	対応するポリシーについては学生便覧の関連するページを参照のこと。
履修条件	特になし。

教科書	講義時に適宜指示します。
参考書	講義時に適宜指示します。
準備学修	(予習) 講義において提示した関連用語の意味等を事前に調べ理解しておくこと (60分)。 (復習) 学修した内容を見直してノートにまとめること (60分)。
課題等に関するフィードバック	授業内にて適宜回答する。
その他アドバイス	産業・司法領域に関する新聞やニュース情報を意識して確認すること。

成績評価の方法	□定期試験 □実技試験 □実習評価 ■小テスト ■レポート ■その他
評価の基準	小テスト 30% レポート 40パーセント 報告会の取り組み・資料作成・発表等 30%

本授業に関連する実務経験等	産業・司法領域で心理的支援業務に関わっていた。
実務経験等の授業への展開	産業・司法領域での心理臨床活動の実際と課題を概説し、産業領域での心理臨床の理解を深める。
オフィスアワー	火曜・昼休み・6F心理学科共同研究室
その他	いかなる理由を問わず、見学実習に参加していない者は単位を付与しない。 欠席はしないこと。

授業計画			
回数	内容	対応するAL	担当
第1回	オリエンテーション 産業・司法領域の心理実習に関して概要を知る	A	小島・山川

第2回	産業・司法領域における公認心理師業務に関して 法的制度を概観し倫理を知る	A, B	小島・山川
第3回	事前学習(1) 実習の目標を知る	A, B	小島・山川
第4回	事前学習(2) 自己の課題を立てる	A, B	小島・山川
第5回	事前学習(3) 実習先を知る	A, B	小島・山川
第6回	事前学習(4) 実習先を知る	A, B, C	小島・山川
第7回	見学実習オリエンテーション 実習中の態度について (注意事項、行程確認等)	A, B, C	小島・山川
第8回	学外施設見学実習(1)	D	小島・山川
第9回	学外施設見学実習(2)	D	小島・山川
第10回	実習報告レポートの作成(1)	A, B	小島・山川
第11回	実習報告レポートの作成(2)	A, B	小島・山川
第12回	実習の事後学習(1) グループディスカッションと実習報告会の準備	A, B	小島・山川
第13回	実習の事後学習(2) グループディスカッションと実習報告会の準備	A, B	小島・山川
第14回	実習報告会 グループごとの発表、質疑応答、指導	A, B, C	小島・山川
第15回	まとめ 授業全体を振り返り学習したことをまとめる	A, B	小島・山川

設置年度 平成 30年度  
計画の区分： 学部の設置

**認可**

国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 国際医療福祉大学  
令和3年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 東京赤坂キャンパス 事務部

職名・氏名 シムフチョウ ヤナギタツヤ  
事務部長 柳 辰哉

電話番号 03-5574-3900

(夜間) 03-5574-3900

e-mail tokyo.s.c@iuhw.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

＜医療マネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

## (2) 大学名

国際医療福祉大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒107-8402

東京都港区赤坂4-1-26

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を ( ) 書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( タカギ クニノリ ) 高木 邦格 (平成7年4月1日)		
学長	( オオトモ クニ ) 大友 邦 (平成28年4月1日)		
学部長	( タカハシ タイ ) 高橋 泰 (平成30年4月1日)	( ナカタ アキノリ ) 中田 光紀 (令和2年4月1日)	一身上の都合 (2)
学科長等	( オバタ ヨウイチ ) 小畑 洋一 (平成30年4月1日)	( タナカ ヒデカズ ) 田中 秀一 (令和3年4月1日)	定年退職 (3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( ) 書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。  
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部医療マネジメント学科 学士(医療マネジメント学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	60人	一年次一人	240人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	60人 ( ) [ 若干名 ]	( ) [ ]	60人 ( ) [ 若干名 ]	( ) [ ]	60人 ( ) [ 若干名 ]	( ) [ ]	60人 ( ) [ 若干名 ]	( ) [ ]	1.02倍	—	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	122 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	129 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]	117 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]	129 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	111 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	127 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]	116 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]	127 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	107 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	107 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]	88 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	107 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	54 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	66 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]	62 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	64 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A			0.9		1.1		1.03		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

- ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	平成30年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	54 [ - ] ( - )	- [ ] ( )	53 [ 1 ] ( - )	- [ ] ( )	62 [ - ] ( - )	- [ ] ( )	64 [ 1 ] ( - )	- [ ] ( )			2021年度より留学生ビザに切り替わった学生が2年次に1名。
2年次	/		66 [ - ] ( - )	- [ ] ( )	65 [ 1 ] ( 1 )	- [ ] ( )	62 [ 1 ] ( 1 )	- [ ] ( )			
3年次	/		/		51 [ - ] ( - )	- [ ] ( )	64 [ 1 ] ( - )	- [ ] ( )			
4年次	/		/		/		51 [ - ] ( - )	- [ ] ( )			
計	54 [ - ] ( - )		119 [ 1 ] ( - )		178 [ 1 ] ( 1 )		241 [ 1 ] ( 3 )				

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	54 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への進学希望(1名)
令和元年度	119 人	3 人	平成30年度	1 人	0 人	除籍(1名)
			令和元年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(2)
令和2年度	178 人	1 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1名)
令和3年度	241 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		5 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{54} = \boxed{1.85} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{119} = \boxed{2.52} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{178} = \boxed{0.56} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{241} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## 2 授業科目の概要

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学	1前	2								12
	コミュニケーション概論	1234前		2							1
	雑談と傾聴	1234前		2							1
	人間学	1234後		2							1
	宗教学	1234後		2							1
	日本近現代史	1234後		2							1
	教育学	1234後		2							1
	死生学	1234前		2							1
	法学	1234後		2							1
	社会学	1234前		2							1
	国際医療福祉論	1234前		2							1
	海外保健福祉事情	1234通		2			1				
	ボランティア論	1234後		2							1
	経済学	1234前		2							1
	数学	1234前		2							1
	生物学	1234前		2							1
	コンピュータの基礎	1前	2				1				
	生命倫理	1234後		2							1
	医学/医療史	1234前		2							1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1				1				2
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1				1				2
	医療福祉教養講義	1234後		1							1
	メディカルマナー入門	1後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1				1				
	英語講読Ⅱ(Basic)	1234後		1			1				
	英語CALLⅠ(Primary)	1前	1				1				
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1			1				
	英語会話Ⅰ(Primary)	1234前		1			1				
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1			1				
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1							1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1							1
	健康科学理論	1234前		1							1
	健康科学実践	1234後		1							1
小計(33科目)	-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2			1				
	関連職種連携論	2後	2								1
	関連職種連携実習	4前		1				1			
	保健医療福祉制度論	1234前		2							1
	リスクマネジメント論	1234前		2			1				
	災害医療論	1234後		2							1
	医療概論	1前	2				1				
	経営学	1前	2				1				
	会計学	1前	2				1				
	医療管理総論	1後	2				1				
	保健医療情報学	1後	2								1
	医療福祉関連法規	2前	2				1				
	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析)	2前	2				1				
	人体構造・機能論	1前	2				1				
	臨床医学総論	1前	2				1				
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1前	2								1
	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2前	2								1
	経営学演習	1後		1				1			
	簿記論Ⅰ(初級)	1後	2					1			
	簿記論Ⅱ(応用)	2前		2				1			
	簿記演習	2後		1				1			
	医療財務会計論	2後		2				1			
	現代保健医療福祉事情	1後	2				1				
医学・医療用語	1前		2			1					
臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1後		2			1					
臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1後		2			1					
臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2前		2			1					

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2								8
	コミュニケーション概論	1234後		2							1
	雑談と傾聴	1234前		2							1
	人間学	1234後		2							1
	宗教学	1234後		2							1
	日本近現代史	1234後		2							1
	教育学	1234後		2							1
	死生学	1234前		2							1
	法学	1234後		2							1
	社会学	1234前		2							1
	国際医療福祉論	1234後		2							1
	海外保健福祉事情	1234通		2				1			
	ボランティア論	1234後		2							1
	経済学	1234前		2							1
	数学	1234前		2							1
	生物学	1234後		2							1
	コンピュータの基礎	1前	2								1
	生命倫理	1234後		2							1
	医学/医療史	1234前		2							1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1					1			3
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1					1			3
	医療福祉教養講義	1234後		1							1
	メディカルマナー入門	1後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1					1			
	英語講読Ⅱ(Basic)	1234後		1				1			
	英語CALLⅠ(Primary)	1前	1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1							1
	英語会話Ⅰ(Primary)	1234前		1							1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1							1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1							1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1							1
	健康科学理論	1234前		1							1
	健康科学実践	1234後		1							1
小計(33科目)	-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2							1
	関連職種連携論	2後	2					1			1
	関連職種連携実習	4前		1							
	保健医療福祉制度論	1234後		2							1
	リスクマネジメント論	1234前		2					1		
	災害医療論	1234後		2							2
	医療概論	1前	2					1			
	経営学	1前	2						1		
	会計学	1前	2						1		
	医療管理総論	1前	2								1
	保健医療情報学	1後	2							1	
	医療福祉関連法規	2前	2								1
	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析)	2前	2							1	
	人体構造・機能論	1前	2					1			
	臨床医学総論	1前	2					1			
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1前	2							1	
	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2前	2							1	
	経営学演習	1後		1							1
	簿記論Ⅰ(初級)	1後	2								1
	簿記論Ⅱ(応用)	2前		2							1
	簿記演習	2後		1							1
	医療財務会計論	2後		2							1
	現代保健医療福祉事情	1後	2						1		
医学・医療用語	1前		2					1			
臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1後		2					1			
臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1後		2					1			
臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2前		2					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2前		2		1						
	データ処理Ⅰ(初級)	1後	2			1						
	データ処理Ⅱ(中級)	3前		2		1						
	データ処理Ⅲ(上級)	3後		2		1						
	ゼミナールⅠ(入門)	1通	2				2	1				
	ゼミナールⅡ(基礎)	2通	2				2	1				
	ゼミナールⅢ(応用)	3通	2				4					
	ゼミナールⅣ(発展)	4通	2				4					
	診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2前	2									1
	診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2後		2								1
	診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3前		2								1
	介護報酬請求論	2後		2								1
	医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2前	2				1					
	医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2前	2				1					
	医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2後	2				1					
	地域包括ケア論	2前		2			1					
	医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	2後	2				1					
	医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3前	2					1				
	医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3後	2				1					
	人的資源管理論	2後		2				1				
	診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2後		2				1				
	診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	3前		2				1				
	診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	3前		2				1				
	国際統計分類Ⅰ(基礎)	2後		2				1				
	国際統計分類Ⅱ(応用)	3前		2				1				
	国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	2後		2				1				
	国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	3前		2				1				
	薬学概論	2後		2								1
	医療福祉施設実習	3通	8					4				
	経営戦略論	3前		2				1				
	経営組織論	3前		2				1				
	医療管理会計論	3前		2					1			
経営分析論	3前		2				1					
マーケティング論	3前		2				1					
マーケティング・リサーチ	3後		2				1					
病院原価計算論	3後		2					1				
社会福祉運営管理論	3後		2				1					
地域医療計画論	3前		2				1					
医療福祉マーケティング論	3後	2					1					
診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	3後		1			1						
診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	3後		1				1					
診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	3後		1				1					
診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	3後		1				1					
介護制度論	3後		2								1	
ケア・マネジメント論	3後		2								1	
保健医療制度論	3前		2			1						
医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4前		2				1					
医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4後		2				1					
小計(75科目)	-											
合計(108科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目の必修から10単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から64単位、選択から38単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2前		2		1						
	データ処理Ⅰ(初級)	1後	2			2						
	データ処理Ⅱ(中級)	3前		2		2						
	データ処理Ⅲ(上級)	3後		2		2						
	ゼミナールⅠ(入門)	1通	2			1	2	1	1			
	ゼミナールⅡ(基礎)	2通	2			2	1	1	1			
	ゼミナールⅢ(応用)	3通	2			4			1			
	ゼミナールⅣ(発展)	4通	2			4			1			
	診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2前	2									1
	診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2後		2								1
	診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3前		2								1
	介護報酬請求論	2後		2			1					2
	医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2前	2				1					
	医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2前	2				1					
	医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2後	2							1		
	地域包括ケア論	2前		2								1
	医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	2後	2							1		
	医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3前	2				1					
	医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3後	2				1					
	人的資源管理論	2後		2			1					
	診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2後		2						1		
	診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	3前		2						1		
	診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	3前		2						1		
	国際統計分類Ⅰ(基礎)	2後		2						1		
	国際統計分類Ⅱ(応用)	3前		2						1		
	国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	2後		2						1		
	国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	3前		2						1		
	薬学概論	2後		2								1
	医療福祉施設実習	3通	8				7	1	1	1		
	経営戦略論	3前		2			1					
	経営組織論	3前		2			1					
	医療管理会計論	3前		2			1					
経営分析論	3前		2			1						
マーケティング論	3前		2								1	
マーケティング・リサーチ	3後		2								1	
病院原価計算論	3後		2			1						
社会福祉運営管理論	3後		2			1						
地域医療計画論	3前		2			3						
医療福祉マーケティング論	3後	2									1	
診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	3後		1			1						
診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	3後		1				1				1	
診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	3後		1				1				1	
診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	3後		1				1				1	
介護制度論	3後		2			1						
ケア・マネジメント論	3後		2								1	
保健医療制度論	3前		2			2						
医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4前		2			1						
医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4後		2			1						
小計(75科目)	-											
合計(108科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目の必修から10単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から64単位、選択から38単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2								11
	コミュニケーション概論	1234後	2								1
	雑談と傾聴	1234前	2								1
	人間学	1234後	2								1
	宗教学	1234後	2								1
	日本近現代史	1234後	2								1
	教育学	1234後	2								1
	死生学	1234前	2								1
	法学	1234後	2								1
	社会学	1234前	2								1
	国際医療福祉論	1234後	2								1
	海外保健福祉事情	1234通	2				1				
	ボランティア論	1234後	2								1
	経済学	1234前	2								1
	数学	1234前	2								1
	生物学	1234後	2								1
	コンピュータの基礎	1前	2				1				
	生命倫理	1234後	2								1
	医学/医療史	1234前	2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1				1				1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1				1				1
	医療福祉教養講義	1234後	1								1
	メディカルマナー入門	1後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1				1				
	英語講読Ⅱ(Basic)	1234後	1				1				
	英語CALLⅠ(Primary)	1前	1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後	1				1				
	英語会話Ⅰ(Primary)	1234前	1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後	1								1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前	1								1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後	1								1
	健康科学理論	1234前	1								1
	健康科学実践	1234後	1								1
小計(33科目)	-										
授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生学	3前	2			1					
	関連職種連携論	2後	2			1					1
	関連職種連携実習	4前	1				1				
	保健医療福祉制度論	1234前	2								1
	リスクマネジメント論	1234前	2			1					
	災害医療論	1234後	2								1
	医療概論	1前	2			1					
	経営学	1前	2			1					
	会計学	1前	2				1				
	医療管理総論	1前	2								1
	保健医療情報学	1後	2								1
	医療福祉関連法規	2前	2								1
	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析)	2前	2			1					
	人体構造・機能論	1前	2			1					
	臨床医学総論	1前	2			1					
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1前	2								1
	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2前	2								1
	経営学演習	1後	1			1					
	簿記論Ⅰ(初級)	1後	2			1					
	簿記論Ⅱ(応用)	2前	2			1					
	簿記演習	2後	1			1					
	医療財務会計論	2後	2			1					
	現代保健医療福祉事情	1後	2			1					
医学・医療用語	1前	2			1						
臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1後	2			1						
臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1後	2			1						
臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2前	2			1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学概論	1前	2								11
	コミュニケーション概論	1234後	2								1
	雑談と傾聴	1234前	2								1
	人間学	1234後	2								1
	宗教学	1234後	2								1
	日本近現代史	1234後	2								1
	教育学	1234後	2								1
	死生学	1234前	2								1
	法学	1234後	2								1
	社会学	1234前	2								1
	国際医療福祉論	1234後	2								1
	海外保健福祉事情	1234通	2				1				
	ボランティア論	1234後	2								1
	経済学	1234前	2								1
	数学	1234前	2								1
	生物学	1234後	2								1
	コンピュータの基礎	1前	2				1				
	生命倫理	1234後	2								1
	医学/医療史	1234前	2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1				1				2
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1				1				2
	医療福祉教養講義	1234後	1								1
	メディカルマナー入門	1後	2								1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1				1				
	英語講読Ⅱ(Basic)	1234後	1				1				
	英語CALLⅠ(Primary)	1前	1								1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後	1				1				
	英語会話Ⅰ(Primary)	1234前	1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後	1								1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前	1								1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後	1								1
	健康科学理論	1234前	1								1
	健康科学実践	1234後	1								1
小計(33科目)	-										
授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生学	3前	2			1					
	関連職種連携論	2後	2			1					1
	関連職種連携実習	4前	1				1				
	保健医療福祉制度論	1234前	2								1
	リスクマネジメント論	1234前	2			1					
	災害医療論	1234後	2								1
	医療概論	1前	2			1					
	経営学	1前	2			1					
	会計学	1前	2				1				
	医療管理総論	1前	2								1
	保健医療情報学	1後	2								1
	医療福祉関連法規	2前	2								1
	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析)	2前	2			1					
	人体構造・機能論	1前	2			1					
	臨床医学総論	1前	2			1					
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1前	2								1
	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2前	2								1
	経営学演習	1後	1			1					
	簿記論Ⅰ(初級)	1後	2			1					
	簿記論Ⅱ(応用)	2前	2			1					
	簿記演習	2後	1			1					
	医療財務会計論	2後	2			1					
	現代保健医療福祉事情	1後	2			1					
医学・医療用語	1前	2			1						
臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1後	2			1						
臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1後	2			1						
臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2前	2			1						

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2前		2		1					
データ処理Ⅰ(初級)	1後	2			2					
データ処理Ⅱ(中級)	3前		2		2					
データ処理Ⅲ(上級)	3後		2		2					
ゼミナールⅠ(入門)	1通	2			2	2	1			
ゼミナールⅡ(基礎)	2通	2			3	3	1			
ゼミナールⅢ(応用)	3通	2			3	4	1	1		
ゼミナールⅣ(発展)	4通	2			3	4	1	1		
診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2前	2								1
診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2後		2							1
診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3前		2							1
介護報酬請求論	2後		2							1
医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2前	2			1					
医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2前	2			1					
医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2後	2					1			
地域包括ケア論	2前		2		1					
医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	2後	2			1					
医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3前	2				1				
医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3後	2				1				
人的資源管理論	2後		2			1				
診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2後		2			1				
診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	3前		2			1				
診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	3前		2			1				
国際統計分類Ⅰ(基礎)	2後		2			1				
国際統計分類Ⅱ(応用)	3前		2			1				
国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	2後		2			1				
国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	3前		2			1				
薬学概論	2後		2							1
医療福祉施設実習	3通	8			1	2				
経営戦略論	3前		2			1				
経営組織論	3前		2							
医療管理会計論	3前		2				1			
経営分析論	3前		2			1				
マーケティング論	3前	2								
マーケティング・リサーチ	3後		2							
病院原価計算論	3後		2				1			
社会福祉運営管理論	3後		2			1				
地域医療計画論	3前		2			1				
医療福祉マーケティング論	3後	2								
診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	3後		1		1					
診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	3後		1			1				
診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	3後		1			1				
診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	3後		1			1				
介護制度論	3後		2							1
ケア・マネジメント論	3後		2							1
保健医療制度論	3前		2		1					
医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4前		2			1				
医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4後		2							
小計(75科目)	-									
合計(108科目)	-									
卒業要件及び履修方法										
総合教育科目の必修から10単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から64単位、選択から38単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))										

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2前		2		1					
データ処理Ⅰ(初級)	1後	2			2					
データ処理Ⅱ(中級)	3前		2		2					
データ処理Ⅲ(上級)	3後		2		2					
ゼミナールⅠ(入門)	1通	2			3	2				
ゼミナールⅡ(基礎)	2通	2			3	2				
ゼミナールⅢ(応用)	3通	2			3	4		1		
ゼミナールⅣ(発展)	4通	2			3	4		1		
診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2前	2								1
診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2後		2							1
診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3前		2							1
介護報酬請求論	2後		2							1
医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2前	2			1					
医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2前	2			1					
医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2後	2						1		
地域包括ケア論	2前		2							1
医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	2後	2			1					
医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3前	2				1				
医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3後	2				1				
人的資源管理論	2後		2			4				
診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2後		2					1		
診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	3前		2					1		
診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	3前		2					1		
国際統計分類Ⅰ(基礎)	2後		2			1				
国際統計分類Ⅱ(応用)	3前		2			1				
国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	2後		2			1				
国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	3前		2			1				
薬学概論	2後		2							1
医療福祉施設実習	3通	8			1	2				
経営戦略論	3前		2			1				
経営組織論	3前		2							
医療管理会計論	3前		2							
経営分析論	3前		2			1				
マーケティング論	3前	2								
マーケティング・リサーチ	3後		2							
病院原価計算論	3後		2					1		
社会福祉運営管理論	3後		2					1		
地域医療計画論	3前		2							
医療福祉マーケティング論	3後	2								
診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	3後		1		1					
診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	3後		1			1				
診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	3後		1			1				
診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	3後		1			1				
介護制度論	3後		2							1
ケア・マネジメント論	3後		2							1
保健医療制度論	3前		2		1					
医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4前		2			1				
医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4後		2							
小計(75科目)	-									
合計(108科目)	-									
卒業要件及び履修方法										
総合教育科目の必修から10単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から64単位、選択から38単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))										

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	心理学概論	1前	2									10
	コミュニケーション概論	1234後		2								1
	雑談と傾聴	1234前		2								1
	人間学	1234後		2								1
	宗教学	1234後		2								1
	日本近現代史	1234後		2								1
	教育学	1234後		2								1
	死生学	1234前		2								1
	法学	1234後		2								1
	社会学	1234前		2								1
	国際医療福祉論	1234後		2								1
	海外保健福祉事情	1234通		2			1					
	ボランティア論	1234後		2								1
	経済学	1234前		2								1
	数学	1234前		2								1
	生物学	1234後		2								1
	コンピュータの基礎	1前	2									1
	生命倫理	1234後		2								1
	医学／医療史	1234前		2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1			1						2
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1前	1			1						2
	医療福祉教養講義	1234後		1								1
	メディカルマナー入門	1後	2									1
	英語講読Ⅰ(Primary)	1前	1				1					
	英語講読Ⅱ(Basic)	1234後		1			1					
	英語CALLⅠ(Primary)	1前	1									1
	英語CALLⅡ(Basic)	1234後		1								1
	英語会話Ⅰ(Primary)	1234前		1								1
	英語会話Ⅱ(Basic)	1234後		1								1
	中国語初級Ⅰ(基礎)	1234前		1								1
	中国語初級Ⅱ(応用)	1234後		1								1
	健康科学理論	1234前		1								1
	健康科学実践	1234後		1								1
小計(33科目)		-										
専門教育科目	公衆衛生学	3前		2								1
	関連職種連携論	2後	2			1						1
	関連職種連携実習	4前		1								1
	保健医療福祉制度論	1234後		2			1					
	リスクマネジメント論	1234前		2			1					
	災害医療論	1234後		2								2
	医療概論	1前	2				1					
	経営学	1前	2				1					
	会計学	1前	2					1				
	医療管理総論	1前	2									1
	保健医療情報学	1後	2					1				
	医療福祉関連法規	2前	2									1
	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析)	2前	2				1					
	人体構造・機能論	1前	2				1					
	臨床医学総論	1前	2				1					
	医療統計Ⅰ(統計理論)	1前	2									1
	医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2前	2									1
	経営学演習	1後		1			1					
	簿記論Ⅰ(初級)	1後	2					1				
	簿記論Ⅱ(応用)	2前		2				1				
	簿記演習	2後		1				1				
	医療財務会計論	2後		2				1				
	現代保健医療福祉事情	1後	2				1					
	医学・医療用語	1前		2			1					
臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1後		2			1						
臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1後		2			1						
臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2前		2			1						



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	臨床医学各論D(循環器・呼吸器と関連系)	2前		2		1						
	データ処理Ⅰ(初級)	1後	2			2						
	データ処理Ⅱ(中級)	3前		2		2						
	データ処理Ⅲ(上級)	3後		2		2						
	ゼミナールⅠ(入門)	1通	2			2	3					
	ゼミナールⅡ(基礎)	2通	2			3	2					
	ゼミナールⅢ(応用)	3通	2			3	1		1			
	ゼミナールⅣ(発展)	4通	2			3	2		1			
	診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2前	2									1
	診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2後		2								1
	診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3前		2								1
	介護報酬請求論	2後		2								1
	医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2前	2			1						
	医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2前	2			1						
	医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2後	2						1			
	地域包括ケア論	2前		2								1
	医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析)	2後	2			1						
	医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3前	2									1
	医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3後	2			1						
	人的資源管理論	2後		2		3						
	診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2後		2					1			
	診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	3前		2					1			
	診療情報管理Ⅲ(OPC・医師事務作業補助者等の実務)	3前		2								1
	国際統計分類Ⅰ(基礎)	2後		2			1					
	国際統計分類Ⅱ(応用)	3前		2								1
	国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	2後		2			1					1
	国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	3前		2			1					1
	薬学概論	2後		2								1
	医療福祉施設実習	3通	8			4	2		1			1
	経営戦略論	3前		2		1						
	経営組織論	3前		2		1						
	医療管理会計論	3前		2			1					
	経営分析論	3前		2		1						
	マーケティング論	3前	2									1
	マーケティング・リサーチ	3後		2								1
	病院原価計算論	3後		2			1					
	社会福祉運営管理論	3後		2								1
	地域医療計画論	3前		2		1						
	医療福祉マーケティング論	3後	2									1
	診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	3後		1		1						
	診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	3後		1								1
	診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B)	3後		1								1
	診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)	3後		1								1
	介護制度論	3後		2		1						
	ケア・マネジメント論	3後		2								1
保健医療制度論	3前		2		1	1						
医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4前		2			1						
医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4後		2									
小計(75科目)												
合計(108科目)		-										
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目の必修から10単位、選択から12単位以上、専門教育科目の必修から64単位、選択から38単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考						
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 校舎敷地に国際医療福祉大学市川病院を追加(H29.9.1事業承継)(30) 福岡看護学部の設置者変更等に伴う変更(3)						
	校舎敷地	258,383㎡ <del>276,538㎡</del> 269,519㎡	0㎡	0㎡	258,383㎡ <del>276,538㎡</del> 269,519㎡							
	運動場用地	100,751㎡	0㎡	0㎡	100,751㎡							
	小計	359,134㎡ <del>377,289㎡</del> 370,270㎡	0㎡	0㎡	359,134㎡ <del>377,289㎡</del> 370,270㎡							
	その他	113,975㎡	0㎡	0㎡	113,975㎡							
	合計	473,109㎡ <del>491,264㎡</del> 484,245㎡	0㎡	0㎡	473,109㎡ <del>491,264㎡</del> 484,245㎡							
(2) 校舎	専用	212,335㎡ <del>223,203㎡</del> 212,896㎡	0㎡	0㎡	212,335㎡ <del>223,203㎡</del> 212,896㎡	大学全体 福岡薬学部設置に伴う追加(2) 福岡看護学部の設置者変更等に伴う変更(3)						
	( 178,828㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 178,828㎡)								
(3) 教室等	講義室	12室	演習室	34室	実験実習室	3室	情報処理学習施設	3室	語学学習施設	1室	キャンパス全体 (補助職員 0人) (補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室数		研究室配置の見直しのため(元)					
	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科				12 11 (うち共同研究室8 7室)							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点					
		6,035 [578]	44 [0]	7,837 [6,493]	43	6,331	0					
	<del>(7,848 [278])</del> <del>(7,067 [277])</del> <del>(6,522 [270])</del> <del>(2,360 [108])</del>	<del>(44 [2])</del> <del>(46 [2])</del> <del>(48 [3])</del> <del>(51 [3])</del>	<del>(11,531 [9,976])</del> <del>(11,028 [9,553])</del> <del>(6,472 [5,311])</del> <del>(6,430 [5,078])</del>	<del>(169)</del> <del>(162)</del> <del>(61)</del>	( 6,331 )	( 0 )						
	計	44 [0]	7,837 [6,493]	43	6,331	0						
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		キャンパス全体					
	696.43㎡		85		31,610							
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					キャンパス全体				
	601.62㎡		-									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部全体 一部前倒し整備(30)			
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	25,973千円 30,000千円	2,999千円 3,000千円	3,000千円				
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	252,081千円 229,658千円	1,500千円	1,500千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		1,060千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	- 千円	- 千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、試算運用収入 等										

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



4. 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		年度	年度	年度	
医学部	6	140	-	700	-	1.00	1.00	-	平成29年度	-	
医学科	6	140	-	700	学士(医学)	1.00		-	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
保健医療学部	4	535	-	2,160	-	1.02	1.02	-	平成7年度	-	
看護学科	4	115	-	460	学士(看護学)	1.01	1.04	-	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
理学療法学科	4	100	-	400	学士(理学療法)	1.01	1.05	-	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士(作業療法)	0.98	1.01	-	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士(言語聴覚)	1.03	1.01	-	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	50	-	200	学士(視機能療法)	1.04	1.04	-	平成14年度	同上	
放射線・情報科学科	4	110	-	460	学士(放射線・情報科学)	1.03	1.04	-	平成7年度	同上	
医療福祉学部	4	140	5	570	-	1.02	1.01	-	平成9年度	-	
医療福祉・マネジメント学科	4	140	5	570	学士(医療福祉学) 学士(医療マネジメント学)	1.02	1.01	-	平成9年度	同上	
薬学部	6	180	-	1,080	-	1.05	1.04	-	平成18年度	-	
薬学科	6	180	-	1,080	学士(薬学)	1.05	1.04	-	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-	1.06	1.07	-	平成18年度	-	
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.08	1.08	-	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法)	1.04	1.06	-	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法)	1.05	1.05	-	平成18年度	同上	
福岡保健医療学部	4	220	-	920	-	1.06	1.03	-	平成17年度	-	
理学療法学科	4	60	-	280	学士(理学療法)	1.06	1.01	-	平成17年度	福岡県大川市榎津137-1	
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法)	1.02	1.00	-	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士(言語聴覚)	1.03	1.05	-	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士(医学検査)	1.09	1.05	-	平成25年度	同上	
福岡薬学部	6	120	-	240	-	1.06	1.02	-	令和2年度	-	
薬学科	6	120	-	240	学士(薬学)	1.06	1.02	-	令和2年度	同上	

成田看護学部	4	100	-	400	-	1.09	1.08	-	平成28年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	1.08	-	平成28年度	千葉県成田市公津 の杜4丁目3番	
成田保健医療学部	4	290	-	1,060	-	1.08	1.08	-	平成28年度	-	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	1.08	-	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.08	1.07	-	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.06	1.07	-	平成28年度	同上	
放射線・情報科 学科	4	50	-	100	学士 (放射線・情報 科学)	1.08	1.08	-	令和2年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.08	1.08	-	平成28年度	同上	
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	4	120	-	480	-	1.05	1.05	-	平成30年度	-	
心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.07	1.03	-	平成30年度	東京都港区赤坂4 丁目1-26	
医療マネジメント 学科	4	60	-	240	学士 (医療マナジメン ト学)	1.03	1.06	-	平成30年度	同上	
大学全体	-	2,045	5	8,410	-	-	-	-	平成7年度	-	
大学の名称	国際医療福祉大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	1	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		年度	年度	年度	
医療福祉学研究科 修士課程	2	235	-	470	-	1.09	0.94	-	平成11年度	-	
保健医療学専攻	2	160	-	320	修士 (保健医療 学)	1.29	1.07	-	平成11年度	栃木県大田原市北 金丸2600番1	
					修士 (看護学)			-			
					修士 (助産学)			-			
					修士 (言語聴覚 学)			-			
					修士 (生殖補助 医療学)			-			
					修士 (医療福祉教 育・管理学)			-			
					修士 (臨床検査 学)			-			
					修士 (災害医療 学)			-			

					修士 (遺伝カウンセリング学)			-			
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学)	1.06	0.92	-	平成13年度	同上	
					修士 (診療情報管理学)			-			
					修士 (医療ビジネス経営学)			-			
					修士 (医療福祉管理学)			-			
					修士 (医療福祉国際協力学)			-			
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-			
					修士 (自立支援介護学)			-			
					修士 (自立支援実践ケアマネジメント学)			-			
					修士 (医療福祉ジャーナリズム学)			-			
					修士 (医療通訳・国際医療マネジメント学)			-			
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	0.90	0.84	-	平成19年度	同上	
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	1.14	1.00	-	平成13年度	-	
保健医療学専攻	3	70	-	210	博士 (保健医療学)	1.14	1.00	-	平成13年度	同上	
					博士 (看護学)			-			
					博士 (助産学)			-			
					博士 (言語聴覚学)			-			
					博士 (生殖補助医療学)			-			
					博士 (医療福祉教育・管理学)			-			
					博士 (臨床検査学)			-			
					博士 (医療遺伝学)			-			

					博士 (医療福祉 経営学)			-			
					博士 (医療福祉 学)			-			
					博士 (診療情報 管理学)			-			
					博士 (医療福祉 国際協力 学)			-			
					博士 (介護福祉・ ケアマネジメント 学)			-			
					博士 (臨床心理 学)			-			
					博士 (医療福祉 ジャーナリズム 学)			-			
薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.20	0.20	-	平成22年度	-	
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.20	0.20	-	平成22年度	同上	
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.75	1.00	-	平成24年度	-	
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.75	1.00	-	平成24年度	同上	
医学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	2.05	2.10	-	平成30年度	-	
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生 学)	2.05	2.10	-	平成30年度	千葉県成田市公津 の杜4丁目3番	
					修士 (医科学)						
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.08	1.25	-	平成30年度	-	
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.08	1.25	-	平成30年度	同上	
大学院全体	-	345	-	810	-	1.04	1.04	-	平成11年度	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】		【平成30年度】	【令和元年度】	【令和2年度】	【令和3年度】
専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
専	高橋 泰 (58) <平成30年4月> 博士(医学)	専	高橋 泰 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	専	高橋 泰 (61) <平成30年4月> 博士(医学)
専	人体構造・機能論 データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) 診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	専	人体構造・機能論 データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) 診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)	専	人体構造・機能論 データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) 診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目)
専	小畑 洋一 (62) <平成30年4月> 文学士	専	小畑 洋一 (62) <平成30年4月> 文学士	専	小畑 洋一 (64) <平成30年4月> 文学士
専	医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) 医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	専	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) 医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	専	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) 医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)
専	中村 秀一 (69) <平成31年4月> 法学士	専	中村 秀一 (69) <平成31年4月> 法学士	専	中村 秀一 (71) <平成31年4月> 法学士
専	地域包括ケア論 保健医療制度論	専	地域包括ケア論 保健医療制度論	専	保健医療制度論
専	丸木 一成 (69) <平成30年4月> 教育学士		丸木 一成 (70) <平成31年4月> 教育学士	専	丸木 一成 (72) <平成31年4月> 教育学士
専	大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)		保健医療福祉制度論	専	保健医療福祉制度論 現代保健医療福祉事情
専	武藤 正樹 (69) <平成30年4月> 医学博士	専	武藤 正樹 (69) <平成30年4月> 医学博士	専	武藤 正樹 (71) <平成30年4月> 医学博士
専	リスクマネジメント論 医療概論 現代保健医療福祉事情	専	リスクマネジメント論 医療概論 現代保健医療福祉事情 ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展)	専	リスクマネジメント論 医療概論 現代保健医療福祉事情 医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント) 地域医療計画論
専	山本 康弘 (58) <平成30年4月> 博士(医療福祉経営学)	兼担	山本 康弘 (58) <平成30年4月> 博士(医療福祉経営学)	兼担	山本 康弘 (59) <平成30年4月> 博士(医療福祉経営学)
専	医療管理総論 医療管理各論Ⅰ(病院管理) 医療管理各論Ⅱ(医療保健・介護保険制度) 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	兼担	医療管理総論	兼担	医療管理総論
専	篠浦 丞 (54) <平成30年4月> 修士(商学)	専	篠浦 丞 (54) <平成30年4月> 修士(商学)	専	篠浦 丞 (56) <平成30年4月> 修士(商学)
専	医学・医療用語 臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系) 臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系) 臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等) 臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系) 臨床医学総論	専	医学・医療用語 臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系) 臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系) 臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等) 臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系) 臨床医学総論 医療管理各論Ⅰ(病院管理)	専	医学・医療用語 臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系) 臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系) 臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等) 臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系) 臨床医学総論 医療管理各論Ⅰ(病院管理) 医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) 人的資源管理論 医療福祉施設実習
		専	石川 ベンジャミン光一 (50) <平成30年4月> 博士(保健学)	専	石川 ベンジャミン光一 (52) <平成30年4月> 博士(保健学)
		専	データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅱ(医療保健・介護保険制度)	専	データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅱ(医療保健・介護保険制度) 人的資源管理論 医療福祉施設実習
				専	石川 ベンジャミン光一 (53) <平成30年4月> 博士(保健学)
		専	データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅱ(医療保健・介護保険制度) 医療福祉施設実習	専	データ処理Ⅰ(初級) データ処理Ⅱ(中級) データ処理Ⅲ(上級) ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅱ(医療保健・介護保険制度) 医療福祉施設実習





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	安部 和彦 (50) <平成30年4月> 博士(経済法)	会計学 簿記論Ⅰ(初級) 簿記論Ⅱ(応用) 簿記演習 医療財務会計論	専	准教授	安部 和彦 (50) <平成30年4月> 博士(経済法)	会計学 簿記論Ⅰ(初級) 簿記論Ⅱ(応用) 簿記演習 ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療財務会計論	専	准教授	安部 和彦 (51) <平成30年4月> 博士(経済法)	会計学 簿記論Ⅰ(初級) 簿記論Ⅱ(応用) 簿記演習 ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療財務会計論	専	准教授	安部 和彦 (52) <平成30年4月> 博士(経済法)	会計学 簿記論Ⅰ(初級) 簿記論Ⅱ(応用) 簿記演習 ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療財務会計論 病院原価計算論
専	准教授	中田 健吾 (47) <平成30年4月> 修士(医療経営学)	ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) マーケティング・リサーチ マーケティング論 医療マネジメント学特別講義Ⅱ (応用) 医療福祉マーケティング論 医療福祉施設実習 経営学 経営組織論 経営学演習					兼任	講師	中田 健吾 (47) <令和2年4月> 修士(医療経営学)	マーケティング論 リサーチ・マーケティング 医療福祉マーケティング論	兼任	講師	中田 健吾 (48) <令和2年4月> 修士(医療経営学)	マーケティング論 リサーチ・マーケティング 医療福祉マーケティング論
専	准教授	岡村 世里奈 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	医療福祉関連法規 人的資源管理論 海外保健福祉事情	専	准教授	岡村 世里奈 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	人的資源管理論 海外保健福祉事情	専	准教授	岡村 世里奈 (48) <平成30年4月> 修士(法学)	海外保健福祉事情	専	准教授	岡村 世里奈 (49) <平成30年4月> 修士(法学)	海外保健福祉事情 ゼミナールⅠ(入門) 医療福祉施設実習
専	准教授	篠原 信夫 (44) <平成30年4月> 修士(理学)	コンピュータの基礎	専	准教授	篠原 信夫 (44) <平成30年4月> 修士(理学)	コンピュータの基礎	専	准教授	篠原 信夫 (45) <平成30年4月> 修士(理学)	コンピュータの基礎	専	准教授	篠原 信夫 (46) <平成30年4月> 修士(理学)	保健医療情報学 ゼミナールⅠ(入門)
								専	准教授	坪井 聡 (41) <令和2年4月> 博士(医学)	保健医療制度論				
専	講師	阪口 博政 (42) <平成30年4月> 博士(商学)	関連職種連携実習 ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 医療管理会計論 病院原価計算論	専	講師	阪口 博政 (42) <平成30年4月> 博士(商学)	関連職種連携実習 ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 医療管理会計論 病院原価計算論					専	講師	藤下 千恵美 (49) <令和3年4月> 修士(診療情報管理学)	ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 診療情報管理Ⅲ(DPC・医師 事務作業補助者等の実務) 国際統計分類Ⅰ(基礎) 国際統計分類Ⅱ(応用) 国際統計分類特別講義Ⅰ (基礎) 国際統計分類特別講義Ⅱ (応用) 医療福祉施設実習 診療情報管理演習Ⅳ(専門 科目C)
専	講師	阪口 博政 (42) <平成30年4月> 博士(商学)	関連職種連携実習 ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 医療管理会計論 病院原価計算論					専	助教	後藤 清貴 (51) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展)	専	助教	後藤 清貴 (53) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則) 診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務) 医療福祉施設実習
				専	助教	後藤 清貴 (51) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展)	専	助教	後藤 清貴 (52) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	専	助教	後藤 清貴 (54) <平成30年4月> 修士(診療情報管理学)	ゼミナールⅢ(応用) ゼミナールⅣ(発展) 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則) 診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務) 医療福祉施設実習
								専	助教	石田 円 (38) <令和3年4月> 博士(商学)	ゼミナールⅠ(入門) ゼミナールⅡ(基礎) 医療マネジメント論Ⅰ(外部環境分析) 医療マネジメント論Ⅱ(内部環境分析) 医療福祉施設実習 診療情報管理演習Ⅱ(専門 科目A) 診療情報管理演習Ⅲ(専門 科目B)				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	岡本 淳子 (72) <平成30年4月> 文学士	兼任	教授	岡本 淳子 (72) <平成30年4月> 文学士									
		心理学			心理学概論									
兼任	教授	飯長 喜一郎 (72) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	飯長 喜一郎 (72) <平成30年4月> 教育学修士									
		心理学			心理学概論									
兼任	教授	鹿島 晴雄 (72) <平成30年4月> 医学博士	兼任	教授	鹿島 晴雄 (72) <平成30年4月> 医学博士									
		心理学 人間学			心理学概論 人間学									
兼任	教授	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	兼任	教授	亀口 憲治 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)									
		心理学			心理学概論									
兼任	教授	稲垣 誠一 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	稲垣 誠一 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)									
		数学			数学									
兼任	教授	金野 充博 (61) <平成30年4月> 政治学士												
		保健医療福祉制度論												
			兼任	教授	石山 麗子 (49) <平成30年4月> 博士(医療福祉学)									
					保健医療福祉制度論									
兼任	教授	中村 裕義 (60) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	中村 裕義 (60) <平成31年4月> 博士(薬学)									
		薬学概論			薬学概論									
兼任	教授	川上 和久 (60) <平成30年4月> 社会心理学修士	兼任	教授	川上 和久 (60) <平成30年4月> 社会心理学修士									
		社会学			社会学									
兼任	教授	黒澤 和生 (60) <平成30年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	黒澤 和生 (60) <平成30年4月> 博士(保健学)									
		医学/医療史			医学/医療史									
兼任	教授	北村 義浩 (57) <平成30年4月> 医学博士												
		国際医療福祉論												
			兼任	教授	後藤 純信 (46) <平成30年4月> 博士(医学)									
					国際医療福祉論									
兼任	教授	谷口 敬道 (52) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	教授	谷口 敬道 (52) <平成30年4月> 博士(工学)									
		医療福祉教養講義			医療福祉教養講義									
兼任	教授	中田 光紀 (51) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中田 光紀 (51) <平成30年4月> 博士(医学)									
		心理学			心理学概論									
			兼任	教授	青木 万里 (55) <平成30年4月> 博士(心理学)									
					心理学概論 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)									





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	金子 純一郎 (48) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (48) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (49) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (50) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	金子 純一郎 (51) <平成30年4月> 博士(保健医療学)
		健康科学理論			健康科学理論			健康科学理論			健康科学理論			健康科学理論
兼任	准教授	小平 めぐみ (47) <平成32年4月> 博士(医療福祉学)	兼任	准教授	小平 めぐみ (47) <平成32年4月> 博士(医療福祉学)	兼任	准教授	小平 めぐみ (48) <平成32年4月> 博士(医療福祉学)	兼任	准教授	小平 めぐみ (49) <平成32年4月> 博士(医療福祉学)	兼任	准教授	小平 めぐみ (50) <平成32年4月> 博士(医療福祉学)
		介護制度論 ケア・マネジメント論			介護制度論 ケア・マネジメント論			介護制度論 ケア・マネジメント論			ケア・マネジメント論			ケア・マネジメント論
兼任	准教授	小島 秀吾 (47) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	小島 秀吾 (47) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	小島 秀吾 (48) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	小島 秀吾 (49) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	小島 秀吾 (50) <平成30年4月> 博士(医学)
		心理学			心理学概論			心理学概論			心理学概論			心理学概論
兼任	准教授	福井 謙 (46) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (46) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (47) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (48) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (49) <平成30年4月> 博士(学術)
		日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史
兼任	准教授	大石 剛史 (42) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (42) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (43) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (44) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	大石 剛史 (45) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)
		ボランティア論			ボランティア論			ボランティア論			ボランティア論			ボランティア論
			兼任	准教授	光山 奈保子 (50) <平成30年4月>	兼任	准教授	光山 奈保子 (51) <平成30年4月>	兼任	准教授	光山 奈保子 (52) <平成30年4月>	兼任	准教授	光山 奈保子 (53) <平成30年4月>
					経済学			経済学			経済学			経済学
			兼任	准教授	坂本 真史 (44) <平成30年4月>	兼任	准教授	坂本 真史 (45) <平成30年4月>	兼任	准教授	坂本 真史 (46) <平成30年4月>	兼任	准教授	坂本 真史 (47) <平成30年4月>
					法学			法学			法学			法学
			兼任	准教授	鮫川 誠司 (41) <平成31年4月>	兼任	准教授	鮫川 誠司 (42) <平成31年4月>	兼任	准教授	鮫川 誠司 (43) <平成31年4月>	兼任	准教授	鮫川 誠司 (44) <平成31年4月>
					医療福祉関連法規			医療福祉関連法規			医療福祉関連法規			医療福祉関連法規
									兼任	准教授	橋本 和典 (46) <令和2年4月> 博士(教育学)	兼任	准教授	橋本 和典 (47) <令和2年4月> 博士(教育学)
											心理学概論			心理学概論
									兼任	准教授	渡邊 志 (49) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	渡邊 志 (50) <令和2年4月> 博士(学術)
											コンピュータの基礎			コンピュータの基礎
兼任	講師	林 真理子 (49) <平成30年4月>	兼任	講師	林 真理子 (49) <平成30年4月>									
		生物学			生物学									
兼任	講師	宮森 隆行 (43) <平成30年4月>												
		健康科学実践												
兼任	講師	寺田 佳孝 (35) <平成30年4月>												
		教育学												
			兼任	講師	鶴田 利郎 (33) <平成30年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	鶴田 利郎 (34) <平成30年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	鶴田 利郎 (35) <平成30年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	鶴田 利郎 (36) <平成30年4月> 博士(人間科学)
					教育学			教育学			教育学			教育学
			兼任	講師	チェンバレン 暁子 (58) <平成30年4月>	兼任	講師	チェンバレン 暁子 (59) <平成30年4月>	兼任	講師	チェンバレン 暁子 (60) <平成30年4月>	兼任	講師	チェンバレン 暁子 (61) <平成30年4月>
					英語CALL I (Primary)			英語CALL I (Primary)			英語CALL I (Primary) 英語CALL II (Basic)			英語CALL I (Primary) 英語CALL II (Basic)



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
			兼任	講師	久永 哲雄 (64) <平成30年9月>										
					健康科学実践										
			兼任	講師	小高 晃 (57) <平成31年9月>				兼任	講師	小高 晃 (58) <平成31年9月>			兼任	講師
					健康科学実践										健康科学実践
									兼任	講師	小田中 悠 (30) <令和2年4月> 博士(社会学)			兼任	講師
											社会学				社会学
									兼任	講師	降旗 光太郎 (49) <令和2年4月> 修士(学術)				
											診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務) 国際統計分類Ⅱ(応用) 診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A) 診療情報管理演習Ⅲ(専門科目B) 診療情報管理演習Ⅳ(専門科目C)				
													兼任	講師	中林 梓 (64) <令和3年4月>
															介護報酬請求論
													兼任	講師	酒井 麻由美 (48) <令和2年4月>
															介護報酬請求論



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学内都合により丸木一成教授の異動が難しくなったため、小畑洋一教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により山本康弘教授の異動が難しくなったため、篠浦丞教授、石川ベンジャミン光一教授、阪口博政講師に一部変更（教員審査省略）。
- ・平成30年4月石川ベンジャミン光一教授就任（教員審査省略）。
- ・担当科目追加のため、伊藤由美准教授の就任年月を平成30年4月に変更（教員審査省略）。
- ・平成30年4月1日付で羽田明浩准教授を教授に昇格（教員審査省略）。
- ・中田健吾准教授就任辞退により、羽田明浩教授、伊藤由美准教授の一部変更（教員審査省略）。平成32年4月採用で専任教員公募予定。
- ・平成30年4月後藤清貴助教就任（教員審査省略）。
- ・石山麗子教授着任に伴い、金野充博教授から変更（教員審査省略）。
- ・北村義浩教授退職のため、後藤純信教授に変更（教員審査省略）。
- ・チェンバレン暁子講師着任に伴い、千葉礼子准教授より一部変更（教員審査省略）。
- ・マシュー・マグラフリン・ジェームス講師着任に伴い、千葉礼子准教授より一部変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により宮森隆行講師の担当が難しくなったため、久永哲雄講師に変更（教員審査省略）。
- ・寺田佳孝講師退職のため、鶴田利郎講師に変更（教員審査省略）。
- ・坂本真史准教授着任に伴い、奥津康祐講師から変更（教員審査省略）。
- ・鮫川誠司准教授着任に伴い、岡村世里奈准教授から一部変更（教員審査省略）。
- ・光山奈保子准教授着任に伴い、廣瀬千秋講師から変更（教員審査省略）。

【令和元年度】

- ・阪口博政講師が平成31年3月に自己都合による退職のため、担当科目の見直しを行い、篠浦丞教授、後藤清貴助教に変更。また関連職種連携実習は兼任の小堀修准教授へ変更し（教員審査省略）、医療管理会計論および病院原価計算論については3年次開講科目であり現在、後任者を調整中。
- ・学内都合により中村秀一教授の担当が難しくなったため、白澤政和教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合により松岡康一講師の担当が難しくなったため、白澤政和教授、渡辺元三教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により石山麗子教授の担当が難しくなったため、丸木一成教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により林真理子講師の担当が難しくなったため、村瀬真一教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により久永哲雄講師の担当が難しくなったため、小高晃講師に変更（教員審査省略）。

【令和2年度】

- ・小川俊夫准教授の就任辞退により、横山和仁教授、武藤正樹教授の一部変更（教員審査省略）。
- ・伊藤由美准教授が定年により退職となり、職名を兼任講師に変更。また降旗光太郎講師に一部変更（教員審査省略）。
- ・令和元年4月島崎謙治教授が就任（教員審査省略）。
- ・令和元年4月坪井聡准教授が就任（教員審査省略）。
- ・担当教員未定だった科目に中田健吾講師が就任（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、飯長喜一郎教授の担当が難しくなったため、軽部雄輝助教に変更（令和元年5月教員審査済）。
- ・自己都合等により、川上和久教授の担当が難しくなったため、小田中悠講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、青木万里教授の担当が難しくなったため、橋本和典准教授（教員審査中、令和元年5月末伝達予定）、亀山晶子助教（令和元年7月教員審査済）に変更。
- ・自己都合等により、望月聡一郎教授の担当が難しくなったため、石井美恵子教授、内海清乃助教に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により、齋藤恵一教授の担当が難しくなったため、飯室聡教授、篠原信夫准教授、藤田烈講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により、村瀬真一教授の担当が難しくなったため、山田晋之介助教に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により、鹿島晴雄教授の担当が難しくなったため、木村伊量教授に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、穴水幸子准教授の担当が難しくなったため、袴田優子講師に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により、篠原信夫准教授の担当が難しくなった一部科目を、渡邊志准教授に変更（教員審査省略）。

【令和3年度】

- ・令和3年4月田中秀一教授が就任（教員審査省略）。
- ・令和3年4月桑原直行教授が就任（教員審査省略）。
- ・令和3年4月水元一博教授が就任（教員審査省略）。
- ・令和3年4月飯室聡教授が就任（教員審査省略）。
- ・令和3年4月藤田烈准教授が就任（教員審査省略）。
- ・令和3年4月藪下千恵美講師が就任（教員審査省略）。
- ・令和3年4月石田円助教が就任（教員審査省略）。
- ・令和3年4月安部和彦准教授が教授に昇格（教員審査省略）。
- ・篠浦丞教授が令和3年3月に博士（医学）の学位を取得したため変更。
- ・小畑洋一教授が定年により退職となり、田中秀一教授に変更（教員審査省略）。
- ・坂本千枝子准教授が定年により退職となり、高橋泰教授、藪下千恵美講師、石田円助教に変更（教員審査省略）。
- ・武藤正樹教授が令和2年5月に自己都合による退職のため、高橋泰教授、丸木一成教授、島崎謙治教授、岡村世里奈准教授に変更（教員審査省略）。
- ・学内都合により、白澤政和教授の一部科目の担当科目が難しくなったため、中林梓講師、酒井麻由美講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、伊藤由美講師の担当が難しくなったため、藪下千恵美講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、鹿島晴雄教授の担当が難しくなったため、佐藤篤講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、袴田優子講師の担当が難しくなったため、佐藤篤講師に変更（教員審査省略）。
- ・自己都合等により、軽部雄輝助教の担当が難しくなったため、大塚雄作教授（教員審査省略）、佐藤篤司講師（教員審査省略）に変更。
- ・自己都合等により、降旗光太郎講師の担当が難しくなったため、藪下千恵美講師、石田円助教に変更（教員審査省略）。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	9	1	0	17	0	12	4	1	2	19	0
(6)	(6)	(1)	(0)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	4	1	2	19	0	12	4	1	2	19	0
[5]	[Δ5]	[0]	[2]	[1]	[0]	[5]	[Δ5]	[0]	[2]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	4 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{17} = \boxed{111.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{19} = \boxed{21.05} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	教授	丸木 一成	H30.3	必修	大学入門講座Ⅰ	①	学内都合（他学部の都合）により就任見送り（30）		
				必修	大学入門講座Ⅱ	①			
2	教授	山本 康弘	H30.3	必修	医療管理総論	②	学内都合（他学部の都合）により兼任教員へ変更（30）		
				必修	医療管理各論Ⅰ	①			
				必修	医療管理各論Ⅱ	①			
				必修	医療管理各論Ⅲ	①			
3	准教授	中田 健吾	H30.3	必修	経営学	①	自己都合により就任辞退（30）		
				選択	経営学演習	①			
				必修	ゼミナールⅠ	①			
				必修	ゼミナールⅡ	①			
				必修	ゼミナールⅢ	①			
				必修	ゼミナールⅣ	①			
				必修	医療福祉施設実習	①			
				選択	経営組織論	③			
				必修	マーケティング論	③			
				選択	マーケティング・リサーチ	③			
				必修	医療福祉マーケティング論	③			
選択	医療マネジメント学特別講義Ⅱ	③							
4	准教授	小川 俊夫		選択	公衆衛生学	②	自己都合により就任辞退（2）		
				必修	ゼミナールⅢ（応用）	①			
				必修	ゼミナールⅣ（発展）	①			
				必修	医療マネジメント論Ⅱ（パブリック・ヘルス）	②			
				必修	医療福祉施設実習	①			
選択	地域医療計画論	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
4	人	必修	18 科目	必修	14 科目	必修	2 科目	必修	2 科目
		選択	6 科目	選択	2 科目	選択	1 科目	選択	3 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	24 科目	計	16 科目	計	3 科目	計	5 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	講師	阪口 博政	H31.3	選択	関連職種連携実習	②	自己都合により辞任（元）		
				必修	ゼミナールⅠ（入門）	①			
				必修	ゼミナールⅡ（基礎）	①			
				必修	ゼミナールⅢ（応用）	①			
				必修	ゼミナールⅣ（発展）	①			
				必修	医療管理各論Ⅲ	①			
				選択	医療管理会計論	③			
選択	病院原価計算論	③							
2	教授	武藤 正樹	R2.5	選択	リスクマネジメント論	①	自己都合により辞任（3）		
				必修	医療概論	①			
				必修	現代保健医療福祉事情	①			
				必修	医療マネジメント論Ⅱ（リスクマネジメント論）	①			
選択	地域医療計画論	①							
3	准教授	坪井 聡	R2.6	選択	保健医療制度論	①	自己都合により辞任（3）		
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	3 科目	選択	1 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	14 科目	計	11 科目	計	1 科目	計	2 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
7 人	必修	12 科目	必修	8 科目	必修	2 科目	必修	2 科目
	選択	12 科目	選択	5 科目	選択	2 科目	選択	5 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	24 科目	計	13 科目	計	4 科目	計	7 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	准教授	伊藤 由美	必修	ゼミナールⅠ(入門)	①	令和2.3.31付65歳で定年退職(2)		
			必修	ゼミナールⅢ(応用)	①			
			必修	医療福祉施設実習	①			
			選択	社会福祉運営管理論	②			
			選択	診療情報管理演習Ⅱ(専門科目A)	②			
			選択	診療情報管理演習Ⅱ(専門科目B)	②			
			選択	医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	②			
2	教授	小畑 洋一	必修	大学入門講座Ⅰ(基礎)	①	令和3.3.31付65歳で定年退職(3)		
			必修	大学入門講座Ⅱ(展開)	①			
			必修	ゼミナールⅠ(入門)	①			
			必修	医療福祉施設実習	①			
3	准教授	坂本 千枝子	必修	ゼミナールⅠ(入門)	①	令和3.3.31付65歳で定年退職(3)		
			必修	ゼミナールⅡ(基礎)	①			
			必修	ゼミナールⅣ(発展)	①			
			選択	国際統計分類Ⅰ(基礎)	①			
			選択	国際統計分類特別講義Ⅰ(基礎)	①			
			選択	国際統計分類特別講義Ⅱ(応用)	①			
			必修	医療福祉施設実習	①			
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3 人	必修	11 科目	必修	11 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	7 科目	選択	3 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	18 科目	計	14 科目	計	4 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全員必須科目の授業時間内に退職及び未就任の旨をあらかじめ口頭にて周知連絡をした。さらに新たな科目担当者についてはシラバスに明記し、かつWeb上で閲覧可能としている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
設 置 時 (平成30年4月)	「医療福祉施設実習要領」を作成しているが、スケジュールや指導体制、評価方法について未だ具体的ではないため、8単位の実習科目としての事前事後学習と実習の時間配分を含めたスケジュールを明確にし、病院実習指導者と実習指導教員がどのように連携を図りどのように課題到達目標から評価までを一体的に行っていくのか、成績評価の具体的方法についての記載を追加し要領を適切に改めること。	留意事項 留意事項の内容を踏まえ実習要項等関連資料を作成・修正作業中。(元) 既に実習協力医療施設を決定し、各担当者と教員との間で学生の情報を共有しながら、実習内容、目標、評価などについて記載した実習要項を作成し、学生へ配布済である。3年次夏期休業中に実習を行うことから、事前学習を行う予定である。(2) 昨年度に引き続き、感染症の影響により実習時間が変更となる可能性が高く、実習先と調整中である。(3)	履行中	昨年度に引き続き、感染症の影響により、施設での実習時間が変更となった場合は、代替となる学内での演習や講義を実施し、教育上支障が生じないように調整していく。
設 置 時 (平成30年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 平成30年4月1日付にて50歳の教授1名、46歳の助教1名を任用した(何れも就任時年齢)。さらに今後も公募により若手教員の採用に力を入れていく。(30) 令和2年4月1日付にて41歳の准教授を任用した。(2) 令和3年4月1日付にて52歳の教授、47歳の准教授、49歳の講師、38歳の助教を任用した。(3)	履行中	今後も積極的に若手教員を任用・採用する方針を継続していく予定である。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況  
学則に基づき大学としてFD委員会を置き、東京赤坂キャンパスには「東京赤坂キャンパスFD委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
令和2年度には年間2回の委員会を実施。また全キャンパスのFD委員長が参加するFD委員長会議は年間3回実施し、活発な議論を行った。

c 委員会の審議事項等  
FD研修会の開催などによる教員の資質向上、授業アンケートの実施の審議および学科ごとに行われてるFD活動の情報共有などを行う。

② 実施状況

a 実施内容

ア) 大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月）  
キャンパスが持ち回りで主催。外部講師を招聘しIPE、ポートフォリオなどのテーマで講演を行う。令和2年度テーマは「発達障害学生に対する組織的な修学・就職支援の取り組み—実践例をもとにした具体的対策について—」として開催した。

イ) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部主催のFD研修会（2月に実施）  
コロナ禍における必要性の高いテーマとして「Google classroomの使い方（基礎編）」と題し、講演会を実施した。

b 実施方法

ア) 大学全体でのFD研修会（年2回、9月、3月）  
同時双方向型のオンライン形式にて実施した。

イ) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部主催のFD研修会（2月に実施）  
同時双方向型のオンライン形式にて実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）  
映像収録を行い、学内で公開しており、原則として全員参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
令和2年度2回の教員研修会についてはいずれも参加教員の満足度は大変高く、学生指導に有効であるとの感想が寄せられた。具体的な授業などへの反映状況は今後の委員会で調査していく予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期  
前期・後期それぞれ全授業科目について実施した。15回の授業のうち14回または15回目にアンケートを行っている。原則として全履修者が回答する。

b 教員や学生への公開状況、方法等  
各教員には集計結果をフィードバックするとともに学生満足度の高い教員1名を、グッドティーチング賞として表彰している。また学生へはWeb上にて集計結果を公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は医学の基礎及び臨床に関する知識、診療情報の取扱い、医療・福祉制度、地域包括ケアを支える職種間や地域内の連携、医療経営、人工知能やビッグデータを含む医療情報処理の基礎知識などを講義・演習・実習などを通して教育を行い、時代のニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できるような人材の育成を目指している。

平成30年10月に(社)日本病院会より認定を受けた「診療情報管理士認定試験 受験指定校」として、令和2年度には1期生が診療情報管理士試験を受験し、全国平均を上回る合格率となった。

本学科は、国家資格のある専門職を養成する学科ではなく学生自らが幅広い選択肢の中から将来の進路を決めることが求められるため、令和元年5月には「キャリア支援室」を開設し、教員やキャリアサポートの経験豊富な職員が2年次初めからという早期の就職支援に力を入れている。毎年4月に独自の就活ハンドブックを3年生に配布し、今後は医療機関、一般企業、公務員等就職先の職種ごとにきめ細かいガイダンスを実施している。

学力のみならず、人間性にも優れた、社会に求められる人材として卒業生を世に送り出せるよう、今後も教育の充実に一層力を注いでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

大学全体として令和2年度に行った自己点検・評価については、公表済である。令和3年度は公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定であり、これを機に3つのポリシーの改定を行うと同時に、学位別の教育プログラム評価の体制も構築している。

b 公表方法

大学ホームページ上に公開済み。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2~3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他( ) ]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 国際医療福祉大学 FD 委員会規程

### (設置)

第1条 国際医療福祉大学学則第11条に基づき、本学にFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### (目的)

第2条 委員会は、本学の定める教学の基本方針にしたがい、教育法の改善及び教員の資質の向上などFD（ファカルティ・ディベロプメント）に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るものとする。

### (委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 一 学部長の意見を聴いて学長が指名する各学科の専任教員、及びセンターがある場合にあってはセンターの専任教員
- 二 学長が指名した者
- 三 理事長が推薦した者

2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の中から学長が指名する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

### (委員会の成立)

第5条 委員会は、過半数の委員の出席により成立する。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

### (委員以外の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

### (小委員会の設置)

第7条 各キャンパスにFD小委員会を置くことができる。

- 2 小委員会の運営については別に定める。

### (事務処理)

第8条 委員会の事務は、大田原事務部教務事務主管課が取り扱い、小委員会の事務は、各キャンパス教務事務主管課が取り扱う。

### (雑則)

第9条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て学長が別に定める。

### (改廃)

第10条 この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。